

令和8年度 美篤小学校老朽化対策等改修工事

伊 那 市
株式会社 環境計画

表紙・図面リスト

【管理教室棟】		【特別教室棟】	
図面番号	図面名称 (建築; 意匠)	図面番号	図面名称 (建築; 既存建物参考図)
A-00	表紙・図面リスト	A-22	仕上表
A-01	改修工事 特記仕様書 1	A-23	既存 平面図 (1, 2階)
A-02	改修工事 特記仕様書 2	A-24	改修 平面図 (1, 2階)
A-03	改修工事 特記仕様書 3	A-25	既存・改修 屋根伏せ図
A-04	改修工事 特記仕様書 4	A-26	既存 立面図 1 (南面・西面)
A-05	解体工事 特記仕様書	A-27	既存 立面図 2 (北面・東面)
A-06	建物概要・付近見取図・配置図	A-28	改修 立面図 1 (南面・西面)
A-07	仕上表	A-29	改修 立面図 2 (北面・東面)
A-08	既存 1, 2階平面図	A-30	既存 天井伏図 (1, 2階)
A-09	既存 3, R階平面図	A-31	改修 天井伏図 (1, 2階)
A-10	改修 1, 2階平面図	A-32E	改修 断面詳細図
A-11	改修 3, R階平面図		
A-12	既存 立面図 1 (南面・北面)		
A-13	既存 立面図 2 (東面・西面)		
A-14	改修 立面図 1 (南面・北面)		
A-15	改修 立面図 2 (東面・西面)		
A-16	既存 1、2階天井伏図		
A-17	既存 3、PH階天井伏図		
A-18	改修 1、2階天井伏図		
A-19	改修 3、PH階天井伏図		
A-20	改修 断面詳細図		
A-21	改修 西外階段屋根		

4-1 外壁改修工事 共通事項

ポリマーセメントモルタル (4.2.2)					
ポリマーセメントモルタルの種類					
合成ゴム系、アクリル系、エチレン酢ビ系等					
曲げ強さ (N/mm ²)	圧縮強さ (N/mm ²)				
6.0以上	20.0以上				
標準時	遅滞時				
0.8以上	0.5以上				
表面状態 だれの下り量は5mm以内とし、ひび割れが発生していないこと。					
透水性 裏面の濡れ、水滴の付着がないこと。					
均質で有害と認められる異物の混入がないこと。					
ポリマーセメントスラリー (4.2.2)					
応り速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮)	引張接着性 (材齢28日)	曲げ性能 (材齢28日)	吸水性 (72時間)	耐久性 (劣化曲げ強さ)
3以上	3%以下	0.5N/mm ² 以上	5.0N/mm ² 以上	15%以下	5.0N/mm ² 以上
保水係数	0.35~0.55	粘弾係数	0.50~1.00		
吸水調整材 (4.2.2)					
項目	全面積 (%)	吸水性 (g)	接着強さ (N/mm ²)	界面破壊率 (%)	
品質・性能	表示値±1%以内	30分間で1g以下	0.98以上	50%以上	
均質で有害と認められる異物の混入がないこと。					
金風サイディング張り					

4-2 外壁改修工事 コンクリート打放し仕上げ外壁

1. ひび割れ部改修工法 (4.1.4) (4.3.4~4.3.6)				
※樹脂注入工法	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (ml/m)	備考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	※200~300	※	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	※50~100	※40	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上~0.5未満	※100~200	※70	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上~1.0以下	※150~250	※130	
注入材料 (4.2.2)				
※建築補修用注入エポキシ樹脂 (JIS A 6024 低粘度型又は中粘度型)				
検査 (コア採取) ※行わない				
・行う (採取部の補修方法:)				
2. Uカットシール材充てん工法 (4.1.4) (4.2.2) (4.3.5)				
充てん材料	品質・規格等	備考		
・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充てん ※行わない ・行う		
・可とう性エポキシ樹脂				
3. シール工法 (4.1.4) (4.2.2) (4.3.6)				
シール材料	品質・規格等			
・パテ状エポキシ樹脂				
・可とう性エポキシ樹脂				
4. 欠損部改修工法 (4.1.4) (4.2.2) (4.3.7)				
※充てん工法	品質・規格等			
○エポキシ樹脂モルタル				
○ポリマーセメントモルタル				

4-3 外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁

1. 既存モルタル塗りの除去 (4.1.4) (4.2.2) (4.3.4)				
・行う (※全面 ・図示の範囲)				
2. ひび割れ部改修工法 (4.1.4) (4.2.2) (4.3.7)				
既存モルタル撤去工法 (範囲は図示 撤去部分の補修は、3.欠損部改修工法による)				
※樹脂注入工法 (※既存モルタル面 ・既存全体コンクリート面) (4.1.4) (4.2.2) (4.3.7)				
注入工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (ml/m)	備考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	※200~300	※	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	※50~100	※40	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上~0.5未満	※100~200	※70	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上~1.0以下	※150~250	※130	
注入材料 (4.2.2)				
※建築補修用注入エポキシ樹脂 (JIS A 6024 低粘度型又は中粘度型)				
検査 (コア採取) ※行わない				
・行う (採取部の補修方法:)				
3. Uカットシール材充てん工法 (4.1.4) (4.2.2) (4.3.5)				
充てん材料	品質・規格等	備考		
・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充てん ※行わない ・行う		
・可とう性エポキシ樹脂				
4. シール工法 (※既存モルタル面 ・既存躯体コンクリート面) (4.1.4) (4.2.2) (4.3.6)				
シール材料	品質・規格等			
・パテ状エポキシ樹脂				
・可とう性エポキシ樹脂				
5. 既存塗り仕上げ材の除去及び補修 (※シール工法の範囲) (4.2.2) (4.3.4)				
・行う (採取部の補修方法:)				
6. 欠損部改修工法 (4.1.4) (4.2.2) (4.3.7)				
※充てん工法	品質・規格等			
○エポキシ樹脂モルタル				
○ポリマーセメントモルタル				
既存モルタル面の欠損部 (4.1.4) (4.2.2) (4.3.7)				
改修工法の種類	材料	品質・規格等		
○充てん工法	ポリマーセメントモルタル	塗り厚25mmを超える場合の補強 ※行う ・行わない ・図示		
○モルタル塗替え工法	改修仕様4.2.2(2)による			
既定目地材 ・適用する (形状 ※図示) (4.2.2)				

4-4 外壁改修工事 タイル張り仕上げ外壁

1. 既存タイル張りの撤去 (4.1.4) (4.2.2) (4.3.4)				
・外壁タイル張り全面 ・図示の範囲				
撤去範囲 ※下地モルタルまで ・張付けモルタルまで ・タイルのみ				
2. ひび割れ部改修工法 (4.1.4) (4.2.2) (4.3.7)				
改修箇所	既存タイル張り面	既存タイル撤去面 (・コンクリート面 ・モルタル面)		
○樹脂注入工法				
注入工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (ml/m)	備考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	※200~300	※	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	※50~100	※40	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上~0.5未満	※100~200	※70	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上~1.0以下	※150~250	※130	
注入材料 (4.2.2)				
※建築補修用注入エポキシ樹脂 (JIS A 6024 低粘度型又は中粘度型)				
検査 (コア採取) ※行わない				
・行う (採取部の補修方法:)				
3. Uカットシール材充てん工法 (既存タイル張り撤去面) (4.1.4) (4.2.2) (4.3.5)				
充てん材料	品質・規格等	備考		
・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充てん ※行わない ・行う		
・可とう性エポキシ樹脂				
4. タイル部分張替え工法 (4.1.4) (4.2.2) (4.3.4)				
接着剤の種類	品質・規格等			
※ポリマーセメントモルタル				
・変成シリコン樹脂				
・エポキシ樹脂				
・ポリウレタン樹脂				
・シリコン樹脂				
・タイル部分張替え工法用接着剤				
5. タイル張替え工法 (4.1.4) (4.2.2) (4.3.4)				
伸縮目地調整及びひび割れ誘発目地位置	※改修仕様表5.11による	・図示		

4-5 外壁改修工事 塗り仕上げ外壁

1. 既存塗膜の除去及び下地処理 (4.1.4) (4.2.2) (4.3.4)	
2. 下地調整材 (4.2.2) (4.3.4)	
3. 仕上げ塗材仕上げ (4.2.2) (4.3.4)	
アンカーピン (4.2.2)	
材料 ※37φ×SUS304、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの	
注入口付アンカーピン (4.2.2)	
材料 ※37φ×SUS304、呼び径外径6mm	
4. 改修工法の適用 (5.1.3)	
5. 見本の製作等 (5.1.5)	
6. 防犯建物部品 (5.1.7)	
7. アルミニウム製建具 (5.2.2) (表5.2.1)	
8. 鋼製建具 (5.3.2) (表5.3.1)	
9. 鋼製軽量建具 (5.4.2) (表5.4.1)	
10. ステンレス製建具 (5.5.2) (表5.5.1)	
11. 自動ドア開閉装置 (5.7.2) (5.7.3) (表5.7.1~5.7.3)	
12. 網戸 (5.8.3) (表5.8.1)	
13. 鋼製建具 (5.9.2) (表5.9.1)	
14. アルミニウム製建具 (5.10.2) (表5.10.1)	
15. オーバーヘッドドア (5.11.2) (表5.11.1)	
16. かざ箱 (5.12.2) (表5.12.1)	

4-6 外壁改修工事

1. 既存モルタル塗りの除去 (4.1.4) (4.2.2) (4.3.4)	
2. ひび割れ部改修工法 (4.1.4) (4.2.2) (4.3.7)	
3. Uカットシール材充てん工法 (4.1.4) (4.2.2) (4.3.5)	
4. シール工法 (4.1.4) (4.2.2) (4.3.6)	
5. 欠損部改修工法 (4.1.4) (4.2.2) (4.3.7)	
6. 既存モルタル塗りの除去及び下地処理 (4.1.4) (4.2.2) (4.3.4)	
7. 下地調整材 (4.2.2) (4.3.4)	
8. 仕上げ塗材仕上げ (4.2.2) (4.3.4)	
9. アンカーピン (4.2.2)	
10. 注入口付アンカーピン (4.2.2)	
11. タイル張替え工法 (4.1.4) (4.2.2) (4.3.4)	
12. タイル部分張替え工法 (4.1.4) (4.2.2) (4.3.4)	
13. タイル張替え工法 (4.1.4) (4.2.2) (4.3.4)	
14. タイル部分張替え工法 (4.1.4) (4.2.2) (4.3.4)	
15. タイル張替え工法 (4.1.4) (4.2.2) (4.3.4)	
16. タイル部分張替え工法 (4.1.4) (4.2.2) (4.3.4)	
17. タイル張替え工法 (4.1.4) (4.2.2) (4.3.4)	
18. タイル部分張替え工法 (4.1.4) (4.2.2) (4.3.4)	
19. タイル張替え工法 (4.1.4) (4.2.2) (4.3.4)	
20. タイル部分張替え工法 (4.1.4) (4.2.2) (4.3.4)	

4-7 内装改修工事

1. 既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲 (6.1.3)	
2. 既存床の撤去並びに下地補修 (6.2.2)	
3. 既存床の撤去並びに下地補修 (6.3.2) (4.4.9)	
4. 木下地等 (6.5.2) (表6.5.2) (表6.5.3)	
5. 集材等 (6.5.2)	
6. 接着剤 (6.5.2)	
7. 壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート、幅木に使用する接着剤 (6.8.2) (表6.8.2)	
8. 壁紙施工用でん粉系接着剤、377樹脂等を用いた接着剤の4477φ't'd'放数量 ※規制対象外 ・第三種 (6.8.2) (表6.8.2)	

4-8 内装改修工事

1. 改修範囲 (6.1.3)	
2. 既存床の撤去並びに下地補修 (6.2.2)	
3. 既存床の撤去並びに下地補修 (6.3.2) (4.4.9)	
4. 木下地等 (6.5.2) (表6.5.2) (表6.5.3)	
5. 集材等 (6.5.2)	
6. 接着剤 (6.5.2)	
7. 壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート、幅木に使用する接着剤 (6.8.2) (表6.8.2)	
8. 壁紙施工用でん粉系接着剤、377樹脂等を用いた接着剤の4477φ't'd'放数量 ※規制対象外 ・第三種 (6.8.2) (表6.8.2)	

4-9 内装改修工事

1. 改修範囲 (6.1.3)	
2. 既存床の撤去並びに下地補修 (6.2.2)	
3. 既存床の撤去並びに下地補修 (6.3.2) (4.4.9)	
4. 木下地等 (6.5.2) (表6.5.2) (表6.5.3)	
5. 集材等 (6.5.2)	
6. 接着剤 (6.5.2)	
7. 壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート、幅木に使用する接着剤 (6.8.2) (表6.8.2)	
8. 壁紙施工用でん粉系接着剤、377樹脂等を用いた接着剤の4477φ't'd'放数量 ※規制対象外 ・第三種 (6.8.2) (表6.8.2)	

4-10 内装改修工事

1. 改修範囲 (6.1.3)	
2. 既存床の撤去並びに下地補修 (6.2.2)	
3. 既存床の撤去並びに下地補修 (6.3.2) (4.4.9)	
4. 木下地等 (6.5.2) (表6.5.2) (表6.5.3)	
5. 集材等 (6.5.2)	
6. 接着剤 (6.5.2)	
7. 壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート、幅木に使用する接着剤 (6.8.2) (表6.8.2)	
8. 壁紙施工用でん粉系接着剤、377樹脂等を用いた接着剤の4477φ't'd'放数量 ※規制対象外 ・第三種 (6.8.2) (表6.8.2)	

4-11 内装改修工事

1. 改修範囲 (6.1.3)	
2. 既存床の撤去並びに下地補修 (6.2.2)	
3. 既存床の撤去並びに下地補修 (6.3.2) (4.4.9)	
4. 木下地等 (6.5.2) (表6.5.2) (表6.5.3)	
5. 集材等 (6.5.2)	
6. 接着剤 (6.5.2)	
7. 壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート、幅木に使用する接着剤 (6.8.2) (表6.8.2)	
8. 壁紙施工用でん粉系接着剤、377樹脂等を用いた接着剤の4477φ't'd'放数量 ※規制対象外 ・第三種 (6.8.2) (表6.8.2)	

4-12 内装改修工事

1. 改修範囲 (6.1.3)	
2. 既存床の撤去並びに下地補修 (6.2.2)	
3. 既存床の撤去並びに下地補修 (6.3.2) (4.4.9)	
4. 木下地等 (6.5.2) (表6.5.2) (表6.5.3)	
5. 集材等 (6.5.2)	
6. 接着剤 (6.5.2)	
7. 壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート、幅木に使用する接着剤 (6.8.2) (表6.8.2)	
8. 壁紙施工用でん粉系接着剤、377樹脂等を用いた接着剤の4477φ't'd'放数量 ※規制対象外 ・第三種 (6.8.2) (表6.8.2)	

伊那市 株式会社 環境計画

工事名 令和8年度 美郷小学校老朽化対策等改修工事

図面名称 改修特記仕様書(2)

年月日 R8.3.2

図面番号 A-02

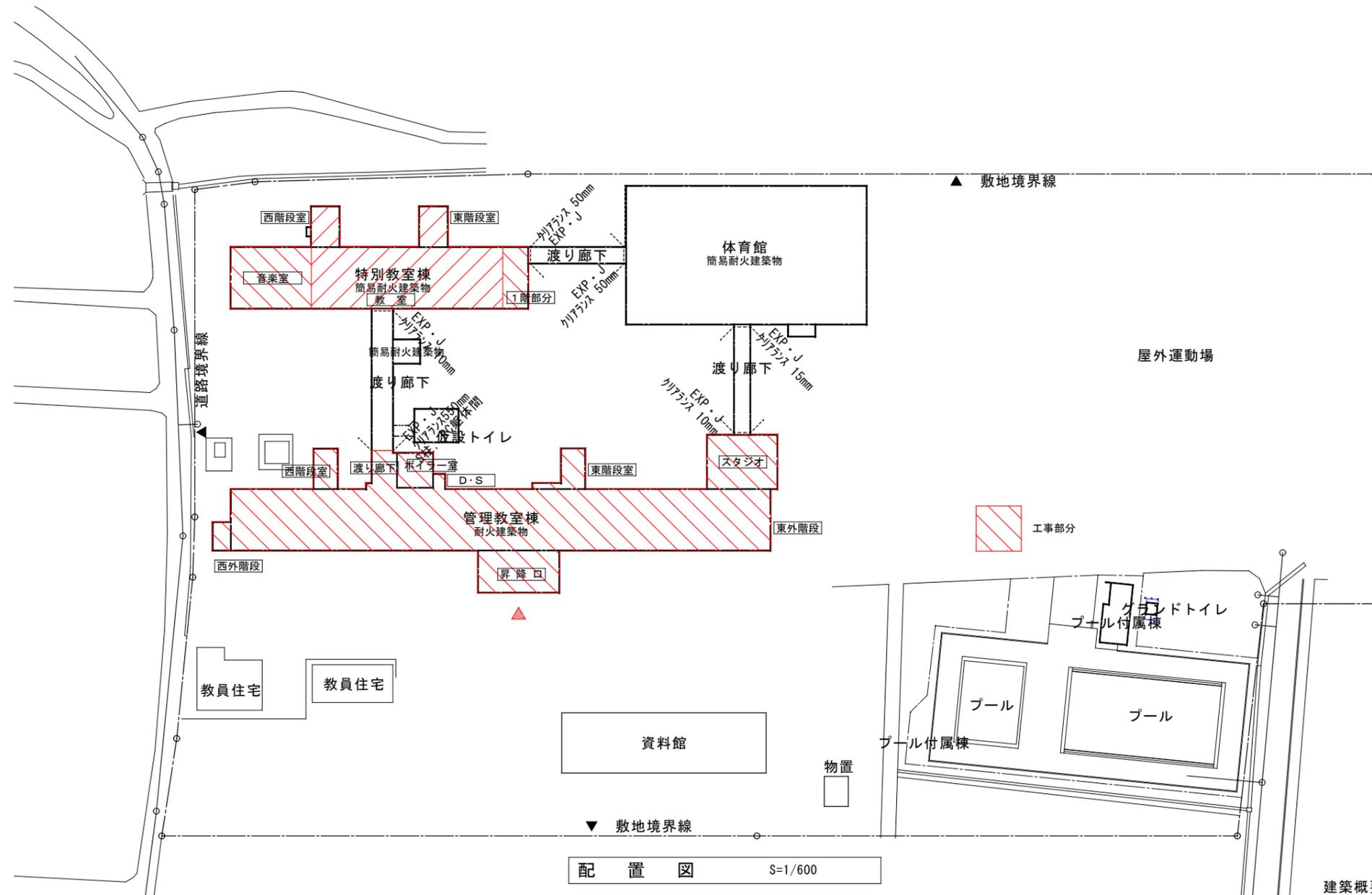
⑦ 塗装改修工事	① 材料	<p>屋内の壁及び天井仕上げ材は、防火材料とする。 ユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの放散量 ※ 規制対象外 第三種</p>																																																																															
	② 下地調整	<p>[7.2.2~7][表7.2.1~7]</p> <table border="1"> <tr> <th>下地調整の種類</th> <th>下地調整の種類</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>木部</td> <td>・ R A種 ※ R B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>・ R A種 ※ R B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき面</td> <td>・ R A種 ※ R B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき面 (鋼製建具)</td> <td>※ R B種 ・ R C種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>モルタル、プaster面</td> <td>・ R A種 ※ R B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンクリート、ALCパネル面</td> <td>・ R A種 ※ R B種</td> <td>(2-UE)、(2-ASE)及び(2-FUE)は除く</td> </tr> </table> <p>[表7.2.4~6]</p>	下地調整の種類	下地調整の種類	備 考	木部	・ R A種 ※ R B種		鉄鋼面	・ R A種 ※ R B種		亜鉛めっき面	・ R A種 ※ R B種		亜鉛めっき面 (鋼製建具)	※ R B種 ・ R C種		モルタル、プaster面	・ R A種 ※ R B種		コンクリート、ALCパネル面	・ R A種 ※ R B種	(2-UE)、(2-ASE)及び(2-FUE)は除く																																																										
	下地調整の種類	下地調整の種類	備 考																																																																														
	木部	・ R A種 ※ R B種																																																																															
	鉄鋼面	・ R A種 ※ R B種																																																																															
	亜鉛めっき面	・ R A種 ※ R B種																																																																															
	亜鉛めっき面 (鋼製建具)	※ R B種 ・ R C種																																																																															
	モルタル、プaster面	・ R A種 ※ R B種																																																																															
	コンクリート、ALCパネル面	・ R A種 ※ R B種	(2-UE)、(2-ASE)及び(2-FUE)は除く																																																																														
	③ 塗装塗り	<p>既存モルタル下地面等のひび割れ部の補修 ※ 行わない 行う (補修範囲及び補修方法は図示)</p> <p>[7.4.2~7.15.2][表7.4.1~7.15.1]</p> <table border="1"> <tr> <th>塗 装 の 種 類</th> <th>塗 装 面</th> <th>工 程</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>塗替え 新規</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">○冷成樹脂調合ペイント塗り (SOP)</td> <td>木部 (外部)</td> <td>※ B種 [7.4.3] ※ A種 [7.4.3]</td> </tr> <tr> <td>木部 (内部)</td> <td>※ B種 [7.4.3] ※ B種 [7.4.3]</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>※ B種 [7.4.4] ・ A種 ・ B種 [7.4.4]</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき面</td> <td>※ B種 [7.4.5] ※ B種 [7.4.5]</td> </tr> <tr> <td>鋼製建具</td> <td>※ A種 [7.4.5] ※ B種 [7.4.5]</td> </tr> <tr> <td>・ フタル酸樹脂エナメル塗り (FE)</td> <td>屋内木部 [7.6.2] 鉄鋼面 [7.6.3] 亜鉛めっき面 [7.6.3]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ アクリル樹脂系水分散系塗料塗り (NAD)</td> <td>屋内のコンクリート面、モルタル面</td> <td>※ B種 (18.6.2)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">○耐候性塗料塗り (DP)</td> <td>鉄鋼面</td> <td>・ A種 ・ B種 ※ A種 [7.8.2]</td> </tr> <tr> <td>上塗り</td> <td>・ 1級 (ふっ素樹脂塗料) ・ 2級 (7/10/10樹脂塗料) ・ 3級 (8/10/10樹脂塗料)</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき面</td> <td>・ A種 ・ B種 ※ A種 [7.8.3]</td> </tr> <tr> <td>上塗り</td> <td>・ 1級 (ふっ素樹脂塗料) ・ 2級 (7/10/10樹脂塗料) ・ 3級 (8/10/10樹脂塗料)</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面</td> <td>・ A-1種 ・ A-2種 ・ B-1種 ・ B-2種 ・ C-1種 ・ C-2種 [7.8.4]</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種 (18.7.4)</td> </tr> <tr> <td>押出成形セメント板面</td> <td>・ A-1種 ・ A-2種 ・ B-1種 ・ B-2種 ・ C-1種 ・ C-2種 [7.8.4]</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種 (18.7.4)</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">○フッ素樹脂調合ペイント塗り (EP-G)</td> <td>屋内木部</td> <td>※ B種 [7.9.3] ※ A種 [7.9.3]</td> </tr> <tr> <td>屋内鉄鋼面</td> <td>※ B種 [7.9.4] ・ A種 ・ B種 [7.9.4]</td> </tr> <tr> <td>屋内亜鉛めっき面</td> <td>※ B種 [7.9.5] ・ A種 ・ B種 [7.9.5]</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面</td> <td>※ B種 [7.9.2] ・ A種 ・ B種 [7.9.2]</td> </tr> <tr> <td>モルタル面</td> <td>※ B種 [7.9.2] ・ A種 ・ B種 [7.9.2]</td> </tr> <tr> <td>プaster面</td> <td>※ B種 [7.9.2] ・ A種 ・ B種 [7.9.2]</td> </tr> <tr> <td>せっこうボード面</td> <td>※ B種 [7.9.2] ・ A種 ・ B種 [7.9.2]</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">○合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)</td> <td>塗装面</td> <td>※ B種 [7.10.2] ・ A種 ・ B種 [7.10.2]</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面</td> <td>※ B種 [7.10.2] ・ A種 ・ B種 [7.10.2]</td> </tr> <tr> <td>モルタル面</td> <td>※ B種 [7.10.2] ・ A種 ・ B種 [7.10.2]</td> </tr> <tr> <td>プaster面</td> <td>※ B種 [7.10.2] ・ A種 ・ B種 [7.10.2]</td> </tr> <tr> <td>・ 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り (EP-T)</td> <td>屋内コンクリート面、モルタル面、せっこうボード面、木部等</td> <td>・ A種 ※ B種 ・ C種 [7.11.2]</td> </tr> <tr> <td>・ ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)</td> <td>木部</td> <td>・ A種 ※ B種 ・ A種 ※ B種 [7.12.2]</td> </tr> <tr> <td>・ クリアラッカー塗り (CL)</td> <td>木部</td> <td>・ A種 ※ B種 [7.5.2] ・ A種 ※ B種 [7.5.2]</td> </tr> <tr> <td>・ オイルステイン塗り (OS)</td> <td>木部</td> <td>[7.13.2] [7.13.2]</td> </tr> <tr> <td>・ 木材保護塗料塗り (WP)</td> <td>木部</td> <td>・ A種 ※ B種 [7.14.2] ・ A種 ※ B種 [7.14.2]</td> </tr> <tr> <td>合成樹脂調合ペイント塗りの塗料の種類</td> <td>※ 1種</td> <td>[7.4.2]</td> </tr> </table>	塗 装 の 種 類	塗 装 面	工 程			塗替え 新規	○冷成樹脂調合ペイント塗り (SOP)	木部 (外部)	※ B種 [7.4.3] ※ A種 [7.4.3]	木部 (内部)	※ B種 [7.4.3] ※ B種 [7.4.3]	鉄鋼面	※ B種 [7.4.4] ・ A種 ・ B種 [7.4.4]	亜鉛めっき面	※ B種 [7.4.5] ※ B種 [7.4.5]	鋼製建具	※ A種 [7.4.5] ※ B種 [7.4.5]	・ フタル酸樹脂エナメル塗り (FE)	屋内木部 [7.6.2] 鉄鋼面 [7.6.3] 亜鉛めっき面 [7.6.3]		・ アクリル樹脂系水分散系塗料塗り (NAD)	屋内のコンクリート面、モルタル面	※ B種 (18.6.2)	○耐候性塗料塗り (DP)	鉄鋼面	・ A種 ・ B種 ※ A種 [7.8.2]	上塗り	・ 1級 (ふっ素樹脂塗料) ・ 2級 (7/10/10樹脂塗料) ・ 3級 (8/10/10樹脂塗料)	亜鉛めっき面	・ A種 ・ B種 ※ A種 [7.8.3]	上塗り	・ 1級 (ふっ素樹脂塗料) ・ 2級 (7/10/10樹脂塗料) ・ 3級 (8/10/10樹脂塗料)	コンクリート面	・ A-1種 ・ A-2種 ・ B-1種 ・ B-2種 ・ C-1種 ・ C-2種 [7.8.4]	・ A種 ・ B種 ・ C種 (18.7.4)	押出成形セメント板面	・ A-1種 ・ A-2種 ・ B-1種 ・ B-2種 ・ C-1種 ・ C-2種 [7.8.4]	・ A種 ・ B種 ・ C種 (18.7.4)	○フッ素樹脂調合ペイント塗り (EP-G)	屋内木部	※ B種 [7.9.3] ※ A種 [7.9.3]	屋内鉄鋼面	※ B種 [7.9.4] ・ A種 ・ B種 [7.9.4]	屋内亜鉛めっき面	※ B種 [7.9.5] ・ A種 ・ B種 [7.9.5]	コンクリート面	※ B種 [7.9.2] ・ A種 ・ B種 [7.9.2]	モルタル面	※ B種 [7.9.2] ・ A種 ・ B種 [7.9.2]	プaster面	※ B種 [7.9.2] ・ A種 ・ B種 [7.9.2]	せっこうボード面	※ B種 [7.9.2] ・ A種 ・ B種 [7.9.2]	○合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)	塗装面	※ B種 [7.10.2] ・ A種 ・ B種 [7.10.2]	コンクリート面	※ B種 [7.10.2] ・ A種 ・ B種 [7.10.2]	モルタル面	※ B種 [7.10.2] ・ A種 ・ B種 [7.10.2]	プaster面	※ B種 [7.10.2] ・ A種 ・ B種 [7.10.2]	・ 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り (EP-T)	屋内コンクリート面、モルタル面、せっこうボード面、木部等	・ A種 ※ B種 ・ C種 [7.11.2]	・ ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)	木部	・ A種 ※ B種 ・ A種 ※ B種 [7.12.2]	・ クリアラッカー塗り (CL)	木部	・ A種 ※ B種 [7.5.2] ・ A種 ※ B種 [7.5.2]	・ オイルステイン塗り (OS)	木部	[7.13.2] [7.13.2]	・ 木材保護塗料塗り (WP)	木部	・ A種 ※ B種 [7.14.2] ・ A種 ※ B種 [7.14.2]	合成樹脂調合ペイント塗りの塗料の種類	※ 1種
塗 装 の 種 類	塗 装 面	工 程																																																																															
		塗替え 新規																																																																															
○冷成樹脂調合ペイント塗り (SOP)	木部 (外部)	※ B種 [7.4.3] ※ A種 [7.4.3]																																																																															
	木部 (内部)	※ B種 [7.4.3] ※ B種 [7.4.3]																																																																															
	鉄鋼面	※ B種 [7.4.4] ・ A種 ・ B種 [7.4.4]																																																																															
	亜鉛めっき面	※ B種 [7.4.5] ※ B種 [7.4.5]																																																																															
	鋼製建具	※ A種 [7.4.5] ※ B種 [7.4.5]																																																																															
	・ フタル酸樹脂エナメル塗り (FE)	屋内木部 [7.6.2] 鉄鋼面 [7.6.3] 亜鉛めっき面 [7.6.3]																																																																															
・ アクリル樹脂系水分散系塗料塗り (NAD)	屋内のコンクリート面、モルタル面	※ B種 (18.6.2)																																																																															
○耐候性塗料塗り (DP)	鉄鋼面	・ A種 ・ B種 ※ A種 [7.8.2]																																																																															
	上塗り	・ 1級 (ふっ素樹脂塗料) ・ 2級 (7/10/10樹脂塗料) ・ 3級 (8/10/10樹脂塗料)																																																																															
	亜鉛めっき面	・ A種 ・ B種 ※ A種 [7.8.3]																																																																															
	上塗り	・ 1級 (ふっ素樹脂塗料) ・ 2級 (7/10/10樹脂塗料) ・ 3級 (8/10/10樹脂塗料)																																																																															
コンクリート面	・ A-1種 ・ A-2種 ・ B-1種 ・ B-2種 ・ C-1種 ・ C-2種 [7.8.4]	・ A種 ・ B種 ・ C種 (18.7.4)																																																																															
押出成形セメント板面	・ A-1種 ・ A-2種 ・ B-1種 ・ B-2種 ・ C-1種 ・ C-2種 [7.8.4]	・ A種 ・ B種 ・ C種 (18.7.4)																																																																															
○フッ素樹脂調合ペイント塗り (EP-G)	屋内木部	※ B種 [7.9.3] ※ A種 [7.9.3]																																																																															
	屋内鉄鋼面	※ B種 [7.9.4] ・ A種 ・ B種 [7.9.4]																																																																															
	屋内亜鉛めっき面	※ B種 [7.9.5] ・ A種 ・ B種 [7.9.5]																																																																															
	コンクリート面	※ B種 [7.9.2] ・ A種 ・ B種 [7.9.2]																																																																															
	モルタル面	※ B種 [7.9.2] ・ A種 ・ B種 [7.9.2]																																																																															
	プaster面	※ B種 [7.9.2] ・ A種 ・ B種 [7.9.2]																																																																															
	せっこうボード面	※ B種 [7.9.2] ・ A種 ・ B種 [7.9.2]																																																																															
○合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)	塗装面	※ B種 [7.10.2] ・ A種 ・ B種 [7.10.2]																																																																															
	コンクリート面	※ B種 [7.10.2] ・ A種 ・ B種 [7.10.2]																																																																															
	モルタル面	※ B種 [7.10.2] ・ A種 ・ B種 [7.10.2]																																																																															
	プaster面	※ B種 [7.10.2] ・ A種 ・ B種 [7.10.2]																																																																															
・ 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り (EP-T)	屋内コンクリート面、モルタル面、せっこうボード面、木部等	・ A種 ※ B種 ・ C種 [7.11.2]																																																																															
・ ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)	木部	・ A種 ※ B種 ・ A種 ※ B種 [7.12.2]																																																																															
・ クリアラッカー塗り (CL)	木部	・ A種 ※ B種 [7.5.2] ・ A種 ※ B種 [7.5.2]																																																																															
・ オイルステイン塗り (OS)	木部	[7.13.2] [7.13.2]																																																																															
・ 木材保護塗料塗り (WP)	木部	・ A種 ※ B種 [7.14.2] ・ A種 ※ B種 [7.14.2]																																																																															
合成樹脂調合ペイント塗りの塗料の種類	※ 1種	[7.4.2]																																																																															

⑨ 環境配慮改修工事	① アスベスト含有分析調査	<p>分析によるアスベスト含有建材の調査 ○ 建材のアスベスト含有調査済み。詳細は別図による。(吹付外壁、天井材⇒含有) 行方 (下表による) ○ 行わない(疑わしき建材は安定処理をする) [9.1.1]</p> <table border="1"> <tr> <th>材 料 名</th> <th>調査方法 (1材料あたりの試料数:3サンプル)</th> </tr> <tr> <td>・ 解体除去建材</td> <td>※ 定性分析 ・ 定量分析</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※ 定性分析 ・ 定量分析</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※ 定性分析 ・ 定量分析</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※ 定性分析 ・ 定量分析</td> </tr> </table> <p>採取箇所 ※ 図示 ・ 適宜 分析対象 ※ アスベスト 6種類 (アモサイト、クリソタイト、クロシロイト、アクチノライト、アンソサイト、トリモライト)</p> <p>分析方法 ※ JIS A 1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による 分析結果については、監督職員に提出すること。</p>	材 料 名	調査方法 (1材料あたりの試料数:3サンプル)	・ 解体除去建材	※ 定性分析 ・ 定量分析		※ 定性分析 ・ 定量分析		※ 定性分析 ・ 定量分析		※ 定性分析 ・ 定量分析																																																																																	
	材 料 名	調査方法 (1材料あたりの試料数:3サンプル)																																																																																											
	・ 解体除去建材	※ 定性分析 ・ 定量分析																																																																																											
		※ 定性分析 ・ 定量分析																																																																																											
		※ 定性分析 ・ 定量分析																																																																																											
		※ 定性分析 ・ 定量分析																																																																																											
	2. 72%以上粉じん濃度測定	<p>アスベスト粉じん濃度測定 ・ 行う (測定名称及び測定点は下表による) [9.1.1]</p> <table border="1"> <tr> <th>測定名称</th> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定点 (各施工箇所ごと)</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>・ 測定 1</td> <td></td> <td>処理作業室内</td> <td>各 点</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>・ 測定 2</td> <td>処理作業前</td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>計 点</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>・ 測定 3</td> <td></td> <td>処理作業室内</td> <td>各 点</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>・ 測定 4</td> <td>処理作業中</td> <td>仕舞い口</td> <td>各 点</td> <td>空気の流れを確認</td> </tr> <tr> <td>・ 測定 5</td> <td></td> <td>負圧・除じん装置の排出口 (処理作業室外の場合)</td> <td>各 点</td> <td>除じん装置の性能確認</td> </tr> <tr> <td>・ 測定 6</td> <td></td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>計 点</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>・ 測定 7</td> <td>処理作業後 (シート養生中)</td> <td>処理作業室内</td> <td>各 点</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>・ 測定 8</td> <td></td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>計 点</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>・ 測定 9</td> <td>処理作業後シート撤去後1週間以降</td> <td>処理作業室内</td> <td>各 点</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>・ 測定 10</td> <td></td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>計 点</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>アスベスト粉じん濃度測定方法 アスベスト粉じん濃度測定は「JIS K 3850-1 空気中の繊維状粒子測定方法-第1部:光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」による位相差・分散顕微鏡法による。 測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>測定 3</th> <th>測定 1,2,4,6,7,8,9,10</th> <th>測定 5</th> </tr> <tr> <td>計数機器</td> <td colspan="3">位相差顕微鏡</td> </tr> <tr> <td>ノズルの内径</td> <td>25 mm</td> <td colspan="2">47 mm</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引流量</td> <td>1 l/min</td> <td>5 l/min</td> <td>10 l/min</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引時間</td> <td>5 min</td> <td>120 min</td> <td>240 min</td> </tr> <tr> <td>試料の透明化</td> <td colspan="3">アセトントリアセチレン法又は、シュウ酸ジエチル法</td> </tr> <tr> <td>計数条件</td> <td colspan="3">総アスベスト繊維数 200 本又は視野数 50 視野</td> </tr> <tr> <td>計数アスベスト</td> <td colspan="3">直径 3μm以上、長さ 5μm以上、長さ直径比 3:1以上</td> </tr> <tr> <td>定量限界</td> <td>50 f/l</td> <td>0.5 f/l</td> <td>0.3 f/l</td> </tr> </table> <p>報告書の作成 (記録する項目) ア、測定結果 イ、測定時間 ウ、測定位置 (測定高さとともに図面上に記載する。) エ、サンプリング条件 (メンブレンフィルタ直径、吸引時間、吸引空気量) オ、マウンティング方法 カ、顕微鏡視野面積、計数視野数 キ、測定時 (各測定場所ごと) 天候、温度、湿度、外気の風速及び風向</p>	測定名称	測定時期	測定場所	測定点 (各施工箇所ごと)	備 考	・ 測定 1		処理作業室内	各 点	—	・ 測定 2	処理作業前	施工区画周辺又は敷地境界	計 点	—	・ 測定 3		処理作業室内	各 点	—	・ 測定 4	処理作業中	仕舞い口	各 点	空気の流れを確認	・ 測定 5		負圧・除じん装置の排出口 (処理作業室外の場合)	各 点	除じん装置の性能確認	・ 測定 6		施工区画周辺又は敷地境界	計 点	—	・ 測定 7	処理作業後 (シート養生中)	処理作業室内	各 点	—	・ 測定 8		施工区画周辺又は敷地境界	計 点	—	・ 測定 9	処理作業後シート撤去後1週間以降	処理作業室内	各 点	—	・ 測定 10		調査対象室外部の付近	計 点	—		測定 3	測定 1,2,4,6,7,8,9,10	測定 5	計数機器	位相差顕微鏡			ノズルの内径	25 mm	47 mm		試料の吸引流量	1 l/min	5 l/min	10 l/min	試料の吸引時間	5 min	120 min	240 min	試料の透明化	アセトントリアセチレン法又は、シュウ酸ジエチル法			計数条件	総アスベスト繊維数 200 本又は視野数 50 視野			計数アスベスト	直径 3μm以上、長さ 5μm以上、長さ直径比 3:1以上			定量限界	50 f/l	0.5 f/l	0.3 f/l
	測定名称	測定時期	測定場所	測定点 (各施工箇所ごと)	備 考																																																																																								
	・ 測定 1		処理作業室内	各 点	—																																																																																								
	・ 測定 2	処理作業前	施工区画周辺又は敷地境界	計 点	—																																																																																								
・ 測定 3		処理作業室内	各 点	—																																																																																									
・ 測定 4	処理作業中	仕舞い口	各 点	空気の流れを確認																																																																																									
・ 測定 5		負圧・除じん装置の排出口 (処理作業室外の場合)	各 点	除じん装置の性能確認																																																																																									
・ 測定 6		施工区画周辺又は敷地境界	計 点	—																																																																																									
・ 測定 7	処理作業後 (シート養生中)	処理作業室内	各 点	—																																																																																									
・ 測定 8		施工区画周辺又は敷地境界	計 点	—																																																																																									
・ 測定 9	処理作業後シート撤去後1週間以降	処理作業室内	各 点	—																																																																																									
・ 測定 10		調査対象室外部の付近	計 点	—																																																																																									
	測定 3	測定 1,2,4,6,7,8,9,10	測定 5																																																																																										
計数機器	位相差顕微鏡																																																																																												
ノズルの内径	25 mm	47 mm																																																																																											
試料の吸引流量	1 l/min	5 l/min	10 l/min																																																																																										
試料の吸引時間	5 min	120 min	240 min																																																																																										
試料の透明化	アセトントリアセチレン法又は、シュウ酸ジエチル法																																																																																												
計数条件	総アスベスト繊維数 200 本又は視野数 50 視野																																																																																												
計数アスベスト	直径 3μm以上、長さ 5μm以上、長さ直径比 3:1以上																																																																																												
定量限界	50 f/l	0.5 f/l	0.3 f/l																																																																																										
3. 72%以上含有吹付け材の除去 (レベル1)	<p>アスベスト含有吹付け材の除去 [9.1.3] ・ 行う 除去方法は 9.1.3 による他、除去の部位・内容に応じた除去は専門工事業者の仕様とする。 除去物及び汚染物質等 処理方法 ※ 密封処理 (二重袋梱包) 隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、粉じん機フィルタについても密封処理を行う。 ・ セメント固化</p>																																																																																												
4. 72%以上含有保温材等の除去 (レベル2)	<p>アスベスト含有保温材の除去 [9.1.4] ・ 行う 作業上の隔離 ・ 行う ・ 行わない</p>																																																																																												
③ 72%以上含有成形板の除去 (レベル3)	<p>アスベスト含有成形板の除去 [9.1.5] ・ 行う ○対象物有れば行う</p>																																																																																												
6. 外断熱改修工事	<p>断熱材の種類 [9.3.2]</p> <table border="1"> <tr> <th>材 料 名</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>・ ビーズ法ポリスチレンフォーム (ノンフロン) [G]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 押出法ポリスチレンフォームA種 (ノンフロン) [G]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 硬質ウレタンフォーム (ノンフロン) [G] ・ フェノールフォーム</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ロックウール</td> <td>グラスウール</td> </tr> </table>	材 料 名	厚さ (mm)	・ ビーズ法ポリスチレンフォーム (ノンフロン) [G]		・ 押出法ポリスチレンフォームA種 (ノンフロン) [G]		・ 硬質ウレタンフォーム (ノンフロン) [G] ・ フェノールフォーム		・ ロックウール	グラスウール																																																																																		
材 料 名	厚さ (mm)																																																																																												
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム (ノンフロン) [G]																																																																																													
・ 押出法ポリスチレンフォームA種 (ノンフロン) [G]																																																																																													
・ 硬質ウレタンフォーム (ノンフロン) [G] ・ フェノールフォーム																																																																																													
・ ロックウール	グラスウール																																																																																												
7. ガラス改修工事	<p>外装材の種類 [9.3.2] ・ 防火性能</p> <p>既存外壁の仕上材の撤去 ・ 有り ・ なし [9.3.3] 下地の清掃及び下地調整 ※断熱材製造所の指定する仕様</p> <p>通気層 ・ 有り (mm) ・ なし [9.3.4] 試験施工、工法及び品質は、確認できる資料を提出し監督職員の承認を受ける 特記無き事項は、製造所の仕様による。</p> <p>複層ガラスの厚さ 建具表による [9.4.2] 断熱性・日射減へい性による区分 ※ U3-1 ・ U3-2</p>																																																																																												
8. 屋上緑化改修工事 [G]	<p>植栽基盤及び材料 [9.6.1] ※屋上緑化軽量システム 芝及び地被類の樹種並びに種類等 ※図示 見切材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 ※図示</p>																																																																																												

⑩ PCB含有シーリング材処分	9. 透水性アスファルト舗装改修工事 [G]	<p>路盤材料 [9.7.4][表9.7.5] ※再生クラッシュラン (RC-40) [G] ・ クラッシュラン鉄鋼スラグ (CS-40) [G] ・ クラッシュラン (C-40) 透水性の高いものを使用する 路盤の締固め試験 ※行わない 遮断層及び凍上抑制層の材料 [9.7.3] ・ 遮断層 ※川砂、海砂又良質な山砂 厚さは図示 ・ 凍上抑制層 ※再生クラッシュラン [G] ・ クラッシュラン 切り込み砂利 ・ 砂 厚さは図示 盛り土に用いる材料 [9.7.3][表9.7.1] ・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土 [G] 路床安定処理 [9.7.3][表9.7.3] ※添加材料による安定処理 種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ フライアッシュセメントB種 [G] ・ 高炉セメントB種 [G] ・ 生石灰 () ・ 消石灰 () 添加量 kg/m³ (倉庫QBR ※5以上) 路床土の支持力比試験 ※行う (※乱した土 ・ 乱さない土) 路床締固め度の試験 ※行う 砂の粒度試験 ※行う 透水性アスファルト混合物 [9.7.6][表9.7.7] 車道部 ※ポリマー改質アスファルトI型 歩道部 ※ストレートアスファルト 透水性アスファルト混合物等の抽出試験 ※行わない ・ 行う [9.7.9] ・ 第一次判定 現場にてサンプルを採取し、シーリング材種及びPCB含有分析の要否を判定する 採取箇所数 計 箇所 採取箇所 ※図示 ・ 第二次判定 専門分析機関にてPCB含有量の分析を行う 分析箇所数 計 箇所 ・ 除去処理工事 除去範囲 ※図示 撤去方法 ・ 「標準施工要領書 (日本シーリング工業会共同組合連合会/日本シーリング材工業会) による</p>
	PCB含有シーリング材について	<p>○ PCB含有シーリング材について A: 1973年 (昭和48年) 以降に着工した建物には、PCB含有シーリング材は使用されていない B: 1972年 (昭和47年) 以前に着工した建物は、シーリング材の種類を判定する (第一次判定) C: 第一次判定において、ポリサルファイド系シーリング材でなければ、PCBは使用されていない D: 第一次判定において、ポリサルファイド系シーリング材の使用が確認された場合は、PCBが使用されている可能性があり、分析を行い第二次判定をする</p>
	当工事について	<p>○ 当工事について ・ 対象建物一昭和59年設計 (昭和48年以降新築着工) : A</p>

伊那市		株式会社 環境計画	
工 事 名	令和8年度 美簗小学校老朽化対策等改修工事	年月日	R 8 ・ 3 ・ 2
図面名称	改修特記仕様書 (4)	図面番号	A - O 4

File Name : 英A-04 改修特記仕様書 (4)



■ 改修工事概要 ■

【管理教室棟】		
外壁	改修前	複層塗材仕上
	改修後	全面 塗装改修
軒天	改修前	複層塗材仕上
	改修後	全面 塗装改修 脆弱部分処理の上
昇降口	改修前	リシン吹付仕上、複層塗材仕上
	改修後	外壁カバー工法 改修
スタジオ屋根	改修前	塩ビシート防水、瓦棒葺、折板葺き
	改修後	防水改修、鋼板塗装改修
D・S屋根	改修前	瓦棒葺
	改修後	屋根カバー工法 改修
渡り廊下屋根	改修前	塩ビシート防水
	改修後	屋根カバー工法 改修
東、西階段室屋根	改修前	塩ビシート防水
	改修後	屋根カバー工法 改修
屋上階屋根	改修前	ウレタン塗膜防水
	改修後	防水改修
屋上大内樋	改修前	鋼製手摺
	改修後	全面 塗装改修
屋上	改修前	ウレタン塗膜防水
	改修後	防水改修
バルコニー床	改修前	鋼製手摺
	改修後	全面 塗装改修
バルコニー手摺	改修前	全面 塗装改修
	改修後	全面 塗装改修
【特別教室棟】		
外壁	改修前	ALC版 複層塗材仕上
	改修後	全面 塗装改修
軒天	改修前	複層塗材仕上
	改修後	全面 塗装改修
1階屋根	改修前	折板葺
	改修後	全面 塗装改修
2階教室屋根	改修前	瓦棒葺
	改修後	全面 塗装改修
2階東西階段室屋根	改修前	瓦棒葺、底部 立ハゼ葺
	改修後	屋根カバー工法 改修、底部塗装改修
2階音楽室屋根	改修前	ウレタン塗膜防水
	改修後	防水改修
バルコニー床	改修前	鋼製手摺
	改修後	全面 塗装改修
バルコニー手摺	改修前	全面 塗装改修
	改修後	全面 塗装改修

建築概要

工事名称	令和8年度 美篤小学校老朽化対策等改修工事		
建築主・氏名	伊那市長 白鳥 孝	TEL:0265-78-4111	
住所	〒396-8617 長野県伊那市 下新田 3050番地		
建設地	伊那市 美篤小学校		
用途地域	指定無し	道路幅員	4.5 m
防火地域	指定無し	接道長さ	107.7 m
建ぺい率	19.1% < 60%	主要用途	小学校
容積率	13.6% < 200%	構造	RC造・鉄骨造
都市計画区域	(内) 外	工事種別	改修
備考			

面積表

	申請部分	申請以外部分	合計
敷地面積	_____ m ²	_____ m ²	27492.00 m ²
建築面積	5786.56 m ²	0 m ²	5786.56 m ²
1階床面積	9223.59 m ²	0 m ²	9223.59 m ²
延べ面積	9223.59 m ²	0 m ²	9223.59 m ²

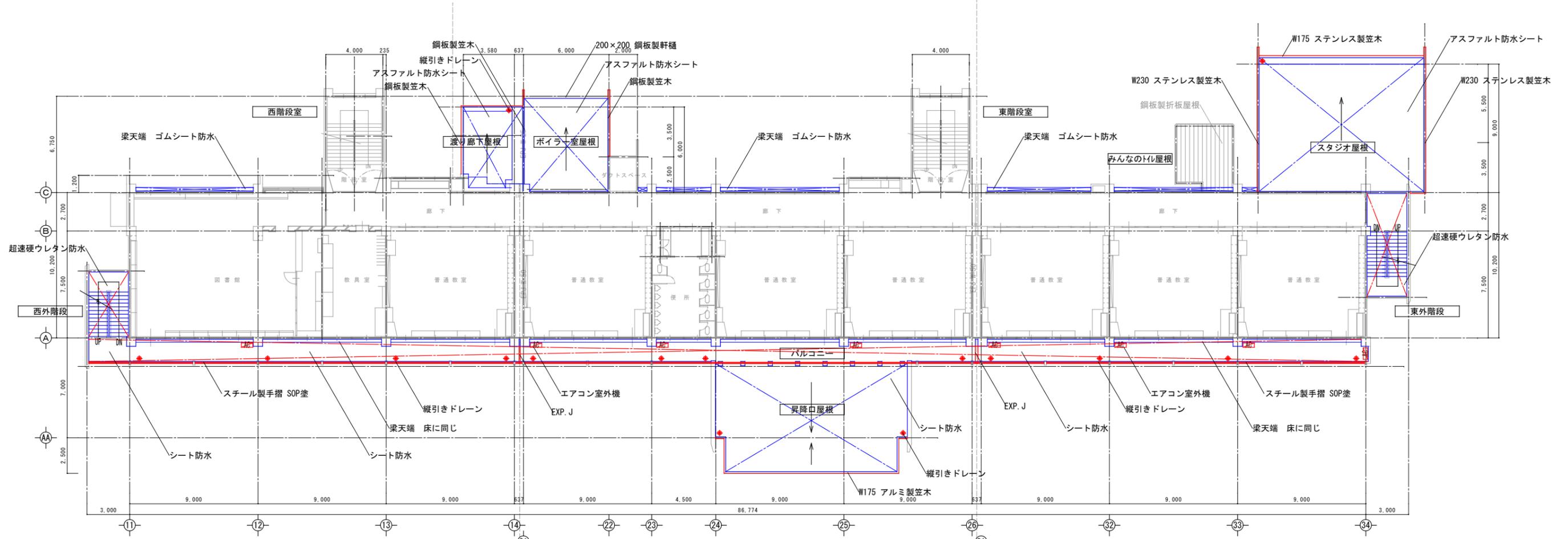


案内図

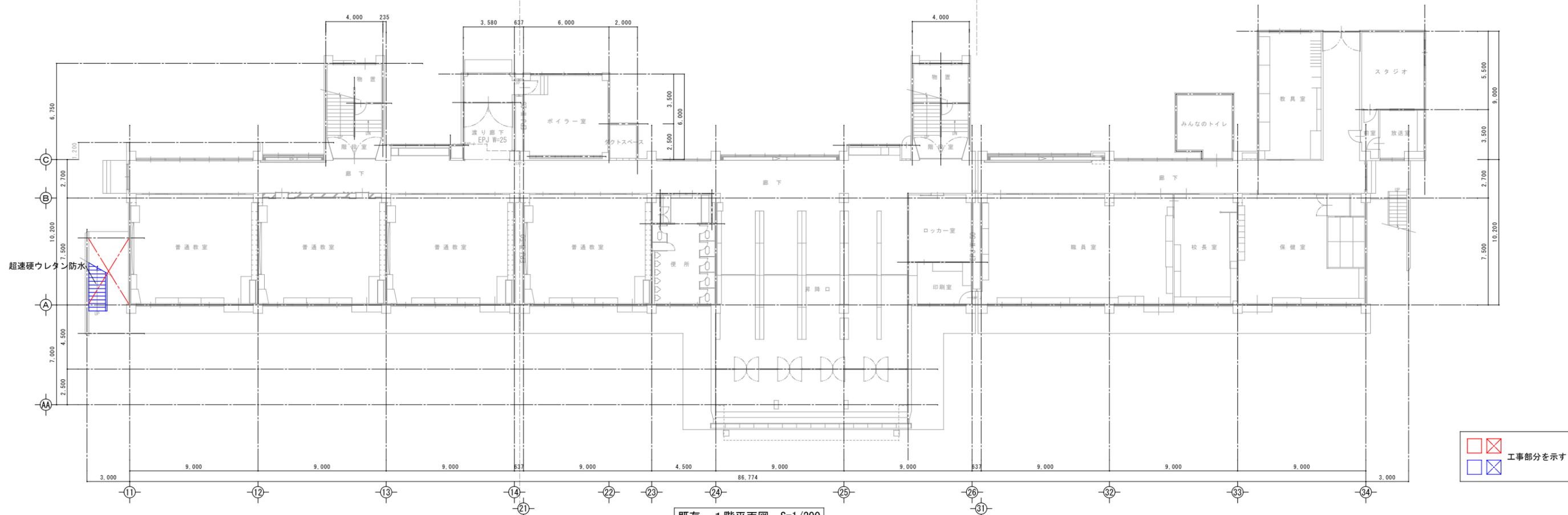
【管理教室棟】 外部仕上表									
外 壁 (既存複層塗材) (一般部)	改修前	複層塗材 E	2階バルコニー (平場、立上り)	改修前	ウレタン塗膜防水 立上り端部水切り 鋼板製 SOP塗	大屋根東 大屋根西 幕板、煙突側面 雪止めアングル 東外階段屋根 みんなのトイレ屋根屋根	改修前	鋼製 SOP塗	
	改修後	工 法 ① 下塗り材 可とう形改修塗材 E 塗 フィラー 上塗り材 水性シリコン樹脂塗料塗		改修後	⑦ 既存アスファルト防水シート撤去 高圧洗浄 (15MPa)、ケレン 下地調整、仮防水材 OZ 平場、立上り ウレタン塗膜防水 塗重ね工法: X-1、ウレタントップ仕上 平場 脱気筒ステンレスヘッド 手摺支柱廻り X-2 ウレタン塗膜防水 立上り端部水切り 鋼板製 SOP塗、ルーフトレーン: 防水納め 水切り取合い: 端部押えシーリング 撤去、打替え アルミ押え金物共		改修後	⑨ 高圧洗浄 (15MPa)、ケレン 変性エポキシ樹脂錆止め塗料塗、プライマー シリコン樹脂屋根用塗料塗	
外 壁 (既存複層塗材) (塗膜欠損、膨れ部)	改修前	複層塗材 E	昇降口屋根 (平場、立上り)	改修前	複層塗膜 E		改修前		
	改修後	② 外壁塗膜剥離剤工法 (強力塗膜剥離剤) RC種ケレン、水洗い (7MPa) 下塗りシーラー塗 下塗り材 可とう形改修塗材 E 塗 フィラー 上塗り材 水性シリコン樹脂塗料塗		改修後	① 高圧洗浄 (7MPa)、RC種ケレン 下塗り1 エポキシ樹脂注入・浸透系シーラー 下塗り2 可とう形改修塗材 E 上塗り 水性シリコン樹脂塗料塗		改修後		
外 壁 (既存打放線甲板模様)	改修前	打放線甲板模様	2階バルコニー軒天 3階バルコニー軒天 外階段上裏 各所軒天 (一般部)	改修前	複層塗膜 E		改修前		
	改修後	④ RC種ケレン、水洗い (7MPa) 撥水剤塗 (シラン系)		改修後	① 高圧洗浄 (7MPa)、RC種ケレン 下塗り1 エポキシ樹脂注入・浸透系シーラー 下塗り2 可とう形改修塗材 E 上塗り 水性シリコン樹脂塗料塗		改修後		
東、西外階段 床 路面、蹴上、巾木、段鼻	改修前	路面、蹴上、巾木共 ウレタン塗膜防水	2階バルコニー軒天 3階バルコニー軒天 外階段上裏 各所軒天	改修前	複層塗膜 E		改修前		
	改修後	⑤ 高圧洗浄 (15MPa)、ケレン 路面、蹴上、巾木 ウレタン塗膜防水 トップコート塗り替え 段鼻 ウレタン塗膜防水 トップコート塗り替え セラミックノンスリップ仕上		改修後	② 外装塗膜剥離剤工法: 強力塗膜剥離剤塗 高圧洗浄 (7MPa)、RC種ケレン、ポリマーセメント断面修復 模様復元 複層塗材 E 上記工程の上 改修 外壁塗装 (一般工法)		改修後		
PH屋根 (平面、立上り) (立上り設備部)	改修前	ウレタン塗膜防水	(塗膜膨れ部)	改修前	複層塗膜 E		改修前		
	改修後	⑤ 高圧洗浄 (15MPa)、ケレン プライマー、ウレタン塗膜防水トップコート塗替え アルミ押え部、設備端部 端部押えシーリング 撤去打替え MS-2		改修後	② 上記工程の上 改修 外壁塗装 (一般工法)		改修後		
D・S屋根 ポイラー室屋根 東階段室室屋根 (平面、立上り)	改修前	ウレタン塗膜防水	2階バルコニー軒天 3階バルコニー軒天 外階段上裏 各所軒天 (鉄筋露出部)	改修前	複層塗膜 E		改修前		
	改修後	② 既存アスファルト防水シート撤去 高圧洗浄 (15MPa)、ケレン 下地調整、仮防水材 OZ 平場、立上り ウレタン塗膜防水 塗重ね工法: X-1、ウレタントップ仕上 平場 脱気筒ステンレスヘッド、改修ドレーン 端部押えシーリング 撤去打替え MS-2、アルミ押え共		改修後	③ 外装塗膜剥離剤工法: 強力塗膜剥離剤塗 高圧洗浄 (7MPa)、RC種ケレン ポリマーセメント工法: 研り工、鉄筋錆落し、防錆処理、ポリマーセメント断面修復 上記工程の上 改修 外壁塗装 (一般工法)		改修後		
屋 上 (平場、立上り)	改修前	ウレタン塗膜防水	昇降口 軒天	改修前	EP塗		改修前		
	改修後	② 既存アスファルト防水シート撤去 高圧洗浄 (15MPa)、ケレン 下地調整、仮防水材 OZ 平場、立上り ウレタン塗膜防水 塗重ね工法: X-1、ウレタントップ仕上 平場 脱気筒ステンレスヘッド、改修ドレーン フェンス基礎 X-2 ウレタン塗膜防水 基礎支柱廻り、端部押えシーリング 撤去打替え MS-2 端部押えシーリング アルミ押え金物共 既存端部アルミ部 水切りテープ 既存端部アルミ部 撤去復旧、捨てシール		改修後	⑦ RC種ケレン、高圧洗浄 (7MPa) 下塗り エマルジョンシーラー 上塗り 水性反応硬化形軒天常用仕上塗材塗 模様復元 形複層塗材 E 塗 SOP塗		改修後		
屋上 大型内樋 スタジオ屋根 (平場、立上り)	改修前	アスファルト防水シート	軒樋 縦樋 (白ガ管φ100) ネットフェンス支柱	改修前	鋼製 SOP塗		改修前		
	改修後	⑦ 既存アスファルト防水シート撤去 高圧洗浄 (15MPa)、ケレン 下地調整、仮防水材 OZ 平場、立上り t=1.5 塩ビシート防水 かぶせ工法 緩衝フォーム敷き込み 積層鋼板取付 水切り取合い: 端部押えシーリング 撤去、打替え アルミ押え金物共 改修ドレーン 通気口廻り シーリング MS-2		改修後	⑨ RC種ケレン、高圧洗浄 (15MPa) 変性エポキシ樹脂錆止め塗料塗、プライマー シリコン樹脂屋根用塗料塗		改修後		
屋上 大型内樋 スタジオ屋根 (平場、立上り)	改修前	アスファルト防水シート	ネットフェンス	改修前	鋼製 SOP塗		改修前		
	改修後	⑦ 既存アスファルト防水シート撤去 高圧洗浄 (15MPa)、ケレン 下地調整、仮防水材 OZ 平場、立上り t=1.5 塩ビシート防水 かぶせ工法 緩衝フォーム敷き込み 積層鋼板取付 水切り取合い: 端部押えシーリング 撤去、打替え アルミ押え金物共 改修ドレーン 通気口廻り シーリング MS-2		改修後	⑨ RC種ケレン、高圧洗浄 (15MPa) 変性エポキシ樹脂錆止め塗料塗、プライマー シリコン樹脂屋根用塗料塗		改修後		

改修 工法仕様 改修 ***工法 のみを各図面に示す

- 防水工事
- ① 改修 防水 (ウレタン塗膜・重塗り工法) 平場 立上り
防水部高圧洗浄 15MPa、ケレン
ウレタンゴム塗膜防水 重ね塗り (X-2)
- ② 改修 防水 (ウレタン塗膜・重塗り工法・既存撤去) 平場 立上り
防水部高圧洗浄 15MPa、ケレン
下地調整、仮防水 (バラテックス程度)
ウレタン塗膜防水 重ね塗り (X-1)
- ③ 改修 防水 (ウレタン塗膜工法) 平場 立上り
防水部高圧洗浄 15MPa、ケレン
ウレタン塗膜防水 X-2 ノンクロスタイプ
- ④ 改修 防水 (ウレタン塗膜工法 段鼻)
防水部高圧洗浄 15MPa、ケレン
ウレタン塗膜防水 X-2 セラミックノンスリ
- ⑤ 改修 防水 (ウレタントップ塗替え工法) 平場 立上り
防水部高圧洗浄 15MPa、ケレン
プライマー ウレタン トップコート塗替え
端部押え 撤去打替え MS-2
- ⑥ 改修 防水 (塩ビシート防水・かぶせ工法) 平場 立上り
防水部高圧洗浄 15MPa、ケレン
緩衝フォーム敷き込み 積層鋼板取付、防水押えアングル
t=1.5 塩ビシート t=1.5
- ⑦ 改修 防水 (塩ビシート防水・かぶせ工法・既存撤去) 平場 立上り
下地調整、仮防水 (バラテックス程度)
防水部高圧洗浄 15MPa、ケレン
緩衝フォーム敷き込み 積層鋼板取付、防水押えアングル
t=1.5 塩ビシート t=1.5
脱気筒、ドレーン周り擦合わせ
- シーリング
- ① 改修 シーリング 1
撤去打替え MS-2
- ② 改修 シーリング 2
端部押えシーリング 撤去打替え MS-2
- ③ 改修 シーリング 3
シーリング 増打 MS-2
- ルーフドレーン
- ① 改修用ルーフドレーン φ100
改修用ルーフドレーン取付
- ② ルーフドレーン防水納め
- 塗装工事
- ① 改修 外壁・軒天塗装 (一般工法)
RC種ケレン、水洗い7MPa
外壁下塗り2 可とう形改修塗材 E フィラー
外壁上塗り 水性シリコン樹脂塗料塗
- ② 改修 補修 (剥離剤工法)
強力塗膜剥離剤塗
RC種ケレン、水洗い7MPa
不陸調整 パターン復元
外壁下塗り1 エポキシ樹脂注入・浸透系シーラー
- ③ 改修 補修 (ポリマーセメント充填工法)
RC種ケレン、水洗い7MPa
研工、鉄筋錆落し、防錆処理
ポリマーセメント断面修復
(梁欠損 アンカーピン鼻先部補修)
不陸調整 パターン復元
外壁下塗り1 エポキシ樹脂注入・浸透系シーラー
- ④ 改修 塗装 (撥水工法)
RC種ケレン、水洗い7MPa
撥水剤塗 (シラン系)
- ⑤ 改修 ALC外壁、軒天塗装 1 (一般工法)
RC種ケレン、水洗い7MPa
外壁下塗り1 エポキシ樹脂注入・浸透系シーラー
外壁下塗り2 可とう形改修塗材 E
外壁上塗り 水性シリコン樹脂塗料塗
- ⑥ 改修 軒天塗装 2 (一般工法) アクリルリシン
RC種ケレン、水洗い7MPa
外壁下塗り1 エポキシ樹脂注入・浸透系シーラー
外壁上塗り 水性シリコン樹脂塗料塗
- ⑦ 改修 軒天塗装 3 (一般工法)
RC種ケレン、水洗い7MPa
下塗り エマルジョンシーラー
上塗り 水性反応硬化形軒天常用仕上塗材塗
- ⑧ 改修 塗装 (EP塗)
RC種ケレン、水洗い7MPa
合成樹脂エマルジョンベイント塗
模様復元 形複層塗材塗
- ⑨ 改修 鉄部塗装 1 (SC塗)
RC種ケレン、水洗い15MPa
変性エポキシ樹脂錆止め塗料塗、プライマー
シリコン樹脂塗料塗
- ⑩ 改修 鉄部塗装 2 (SC塗)
RC種ケレン、水洗い15MPa
シリコン樹脂塗料塗
- ⑪ 改修 鉄部塗装 3 (アルマ)
RC種ケレン、水洗い15MPa
変性エポキシ樹脂錆止め塗料塗、アルマプライマー
上塗り ハイアルマ塗 程度

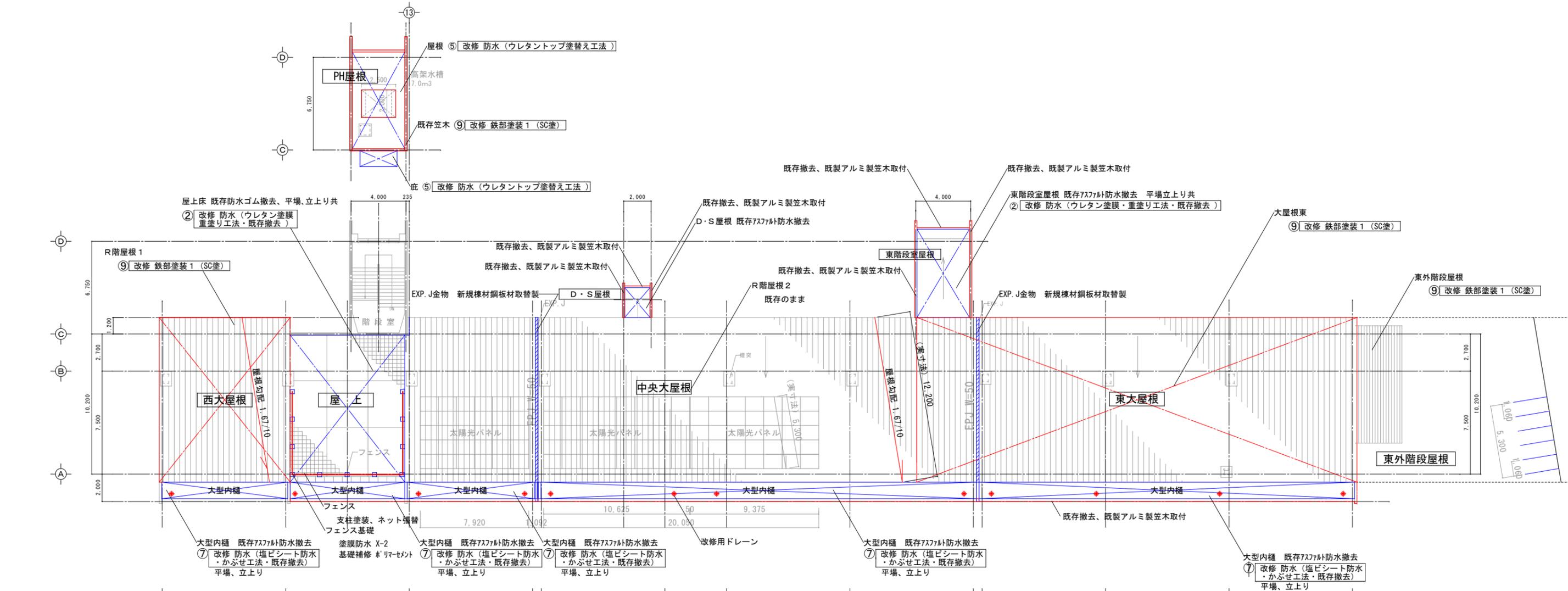


既存 2階平面図 S=1/200

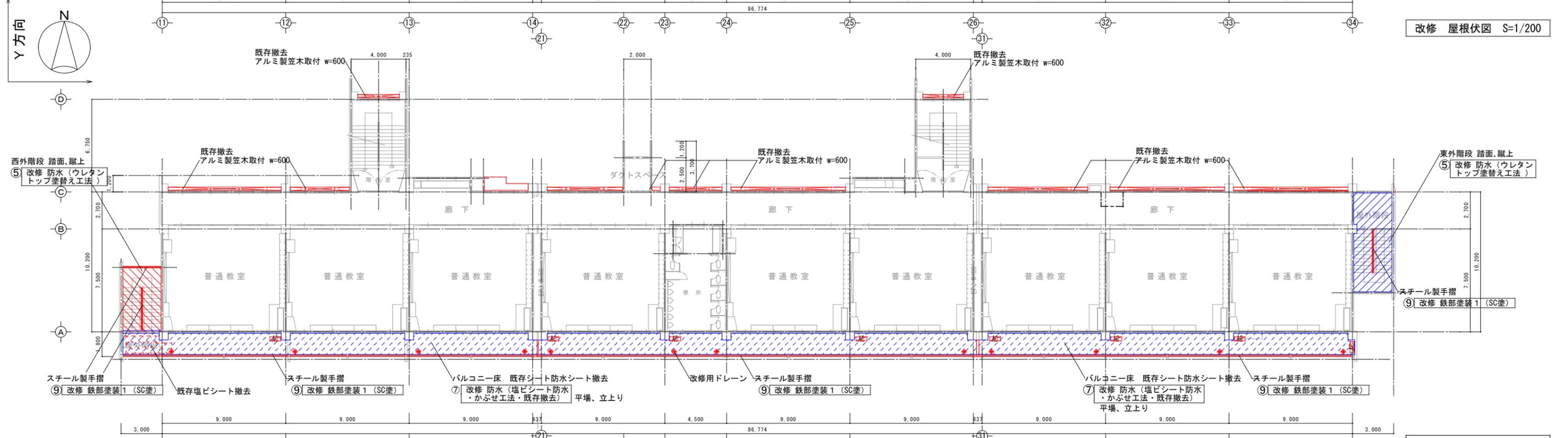


既存 1階平面図 S=1/200

□ □ 工事部分を示す
× ×

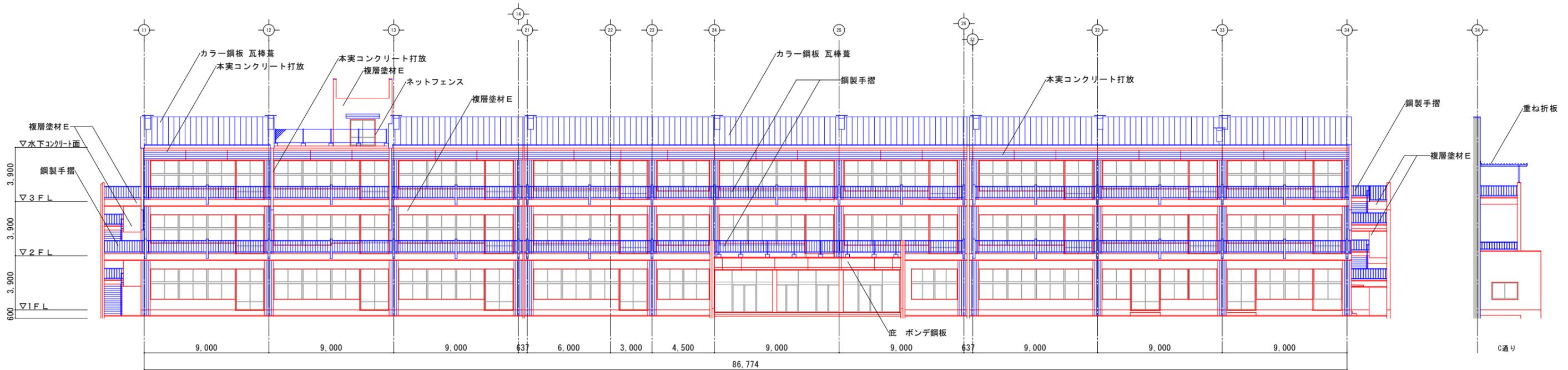


改修 屋根伏図 S=1/200

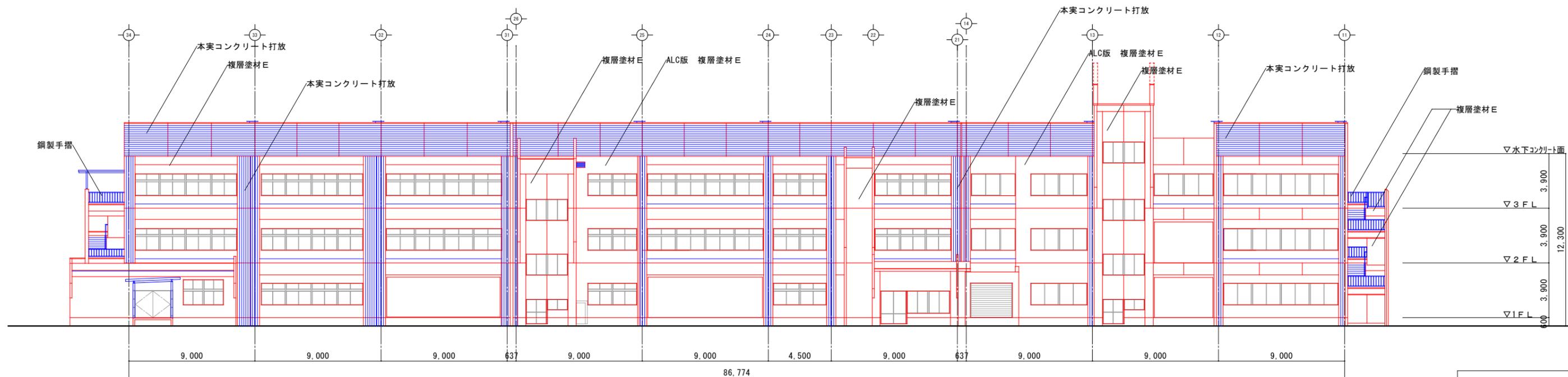


改修 3階平面図 S=1/200

複層塗材E 本実コンクリート打放

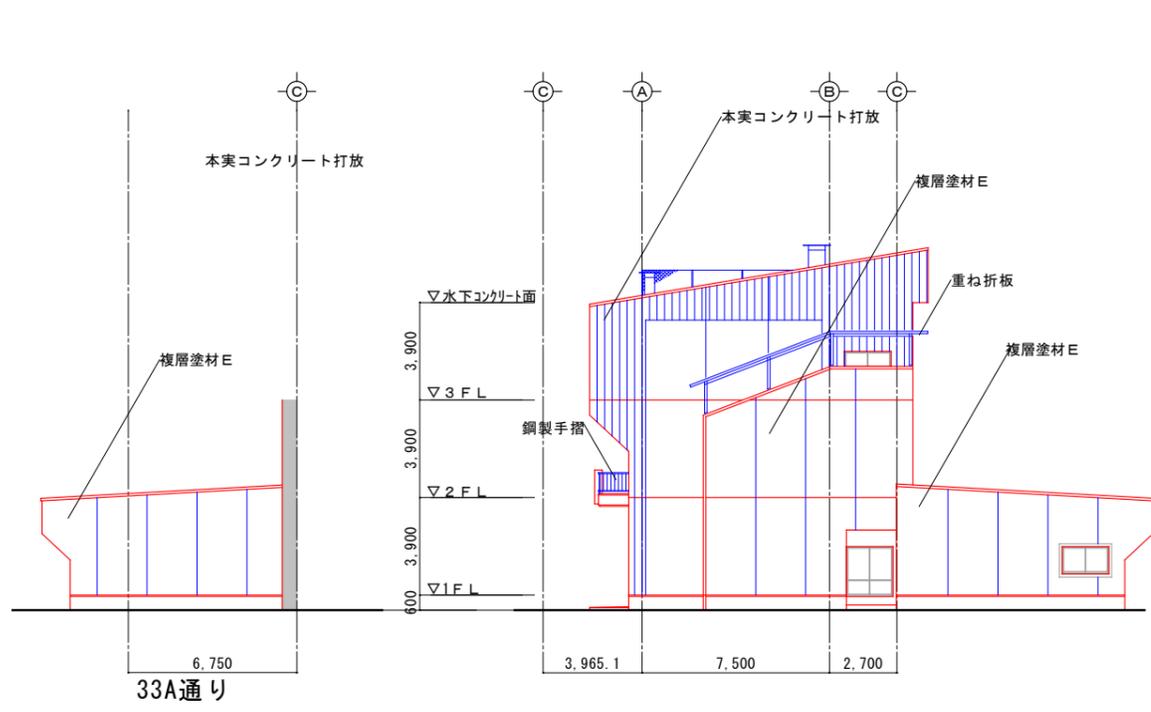


既存 南立面図 S=1/200

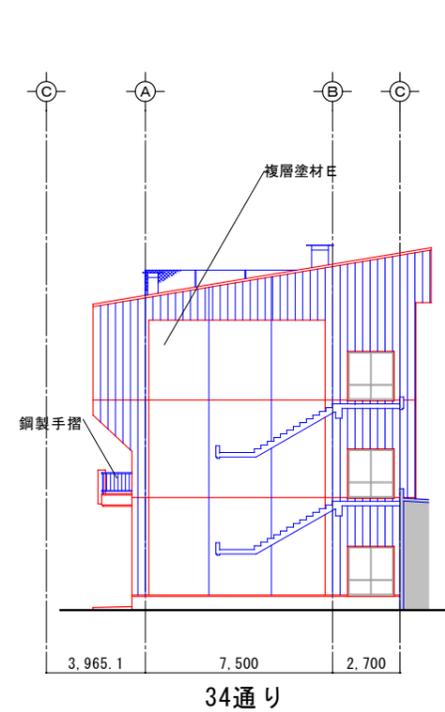


既存 北立面図 S=1/200

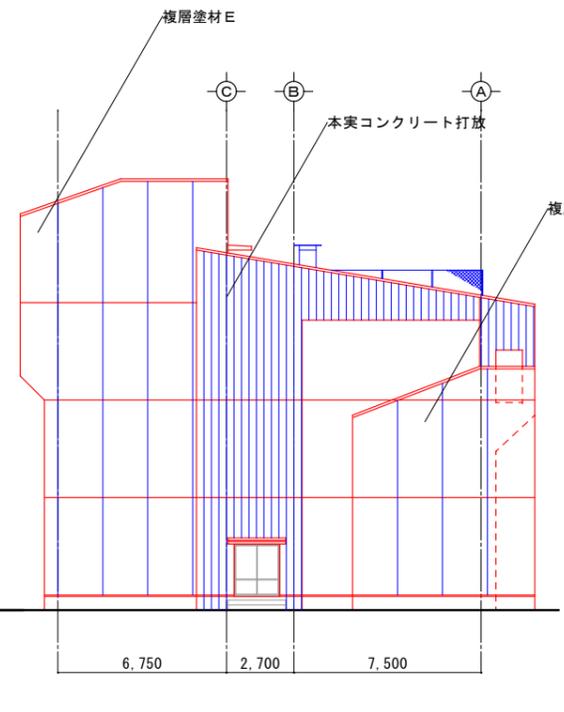
工事部分を示す



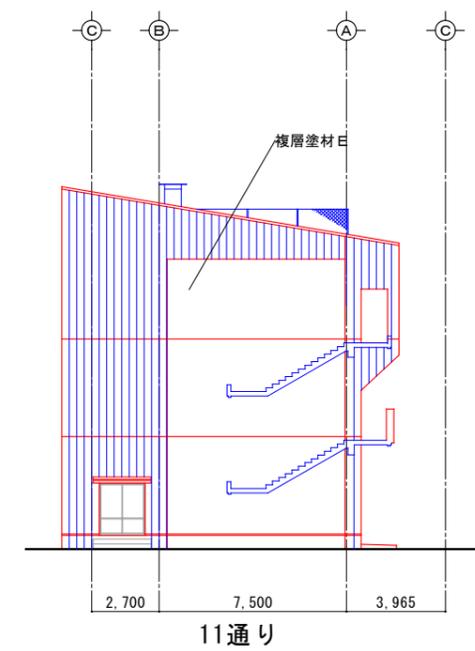
西立面図



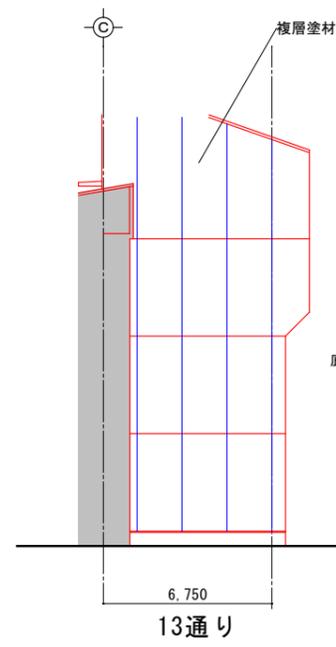
東立面図



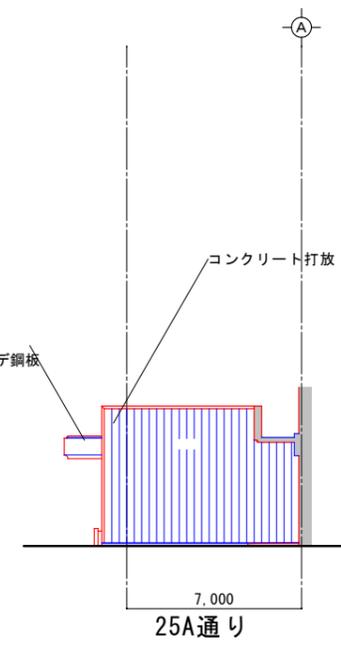
西立面図



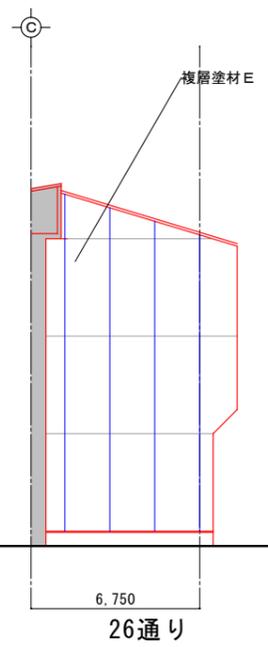
11通り



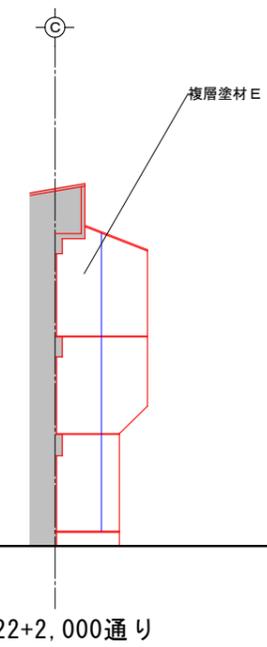
東立面図



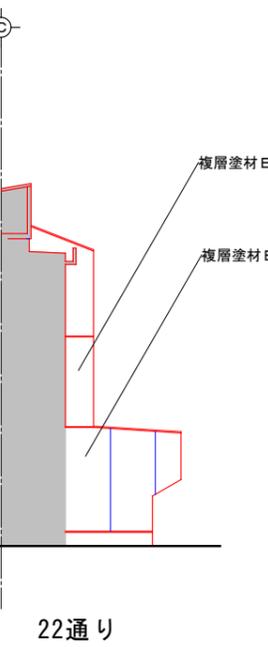
25A通り



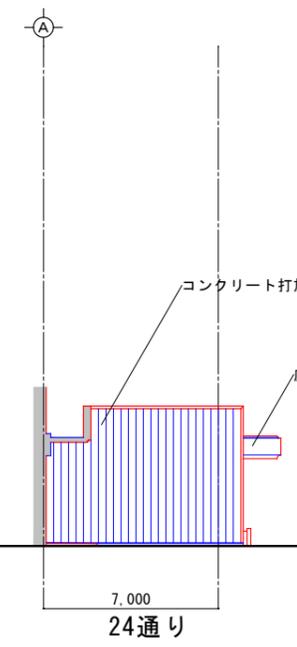
26通り



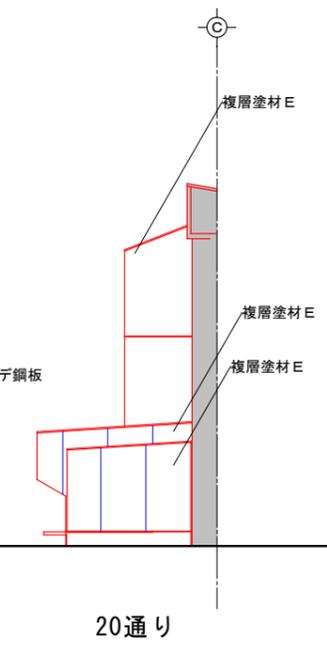
22+2,000通り



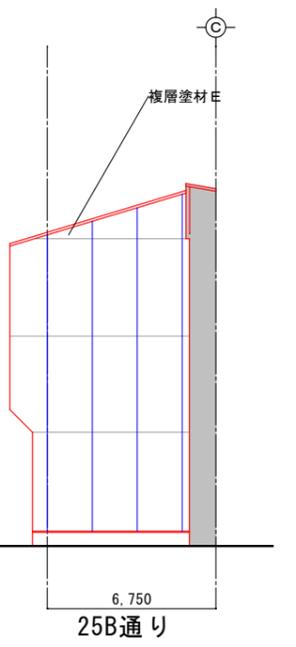
22通り



24通り



20通り



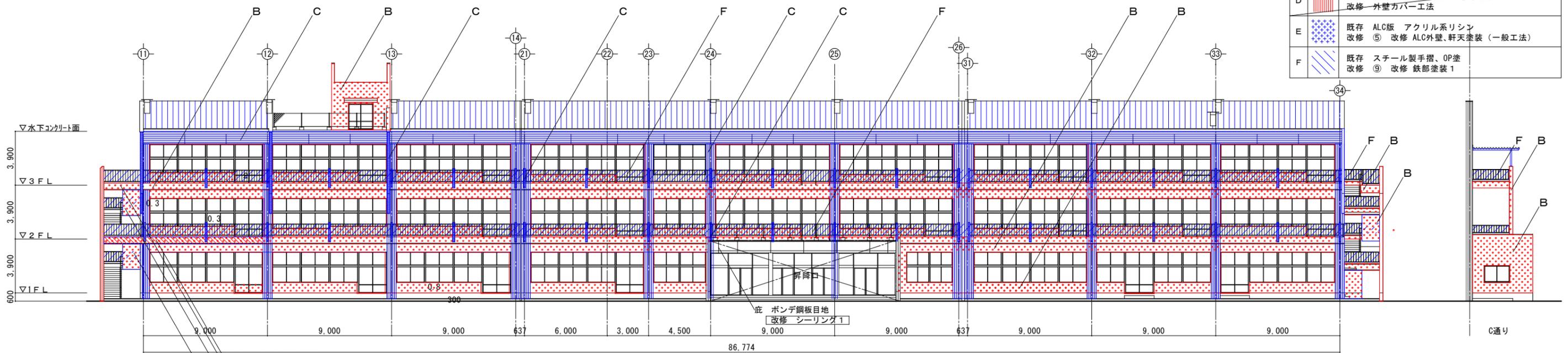
25B通り

西立面図

工事部分を示す

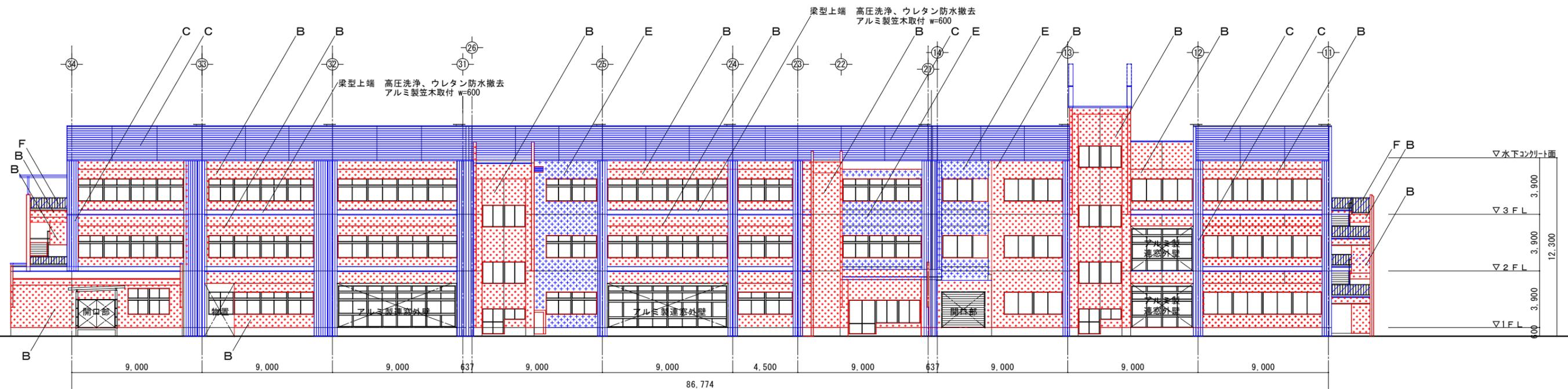
共通	
サッシ廻りシーリング	
サッシ (四方)	撤去、打替え MS-2 15×10
サッシ (水切上)	撤去、打替え MS-2 15×10
掃出サッシ (水切下)	撤去、打替え MS-2 15×10
躯体打継目地	撤去、打替え MS-2 20~30×10
躯体目地	撤去、打替え MS-2 15×10

記号	仕様
A	既存 アクリル系リシン 改修 ① 改修 外壁塗装 (一般工法)
B	既存 複層塗材E 改修 ① 改修 外壁塗装 (一般工法) 改修 ② 改修 補修 (剝離工法) 改修 ③ 改修 補修 (ポリマーセメント充填工法)
C	既存 コンクリート打放 改修 ④ 改修 外壁塗装 (撥水工法)
D	既存 RG造、モルタル塗り、複層塗材 改修 外壁方パー工法
E	既存 ALC版 アクリル系リシン 改修 ⑤ 改修 ALC外壁、軒天塗装 (一般工法)
F	既存 スチール製手摺、OP塗 改修 ⑨ 改修 鉄部塗装 1



外壁 既存 複層吹付材R
 ① 外壁・軒天 一般工法工法
 脆弱部分改修
 ② 外装塗膜剝離工法
 ③ ポリマーセメント充填工法

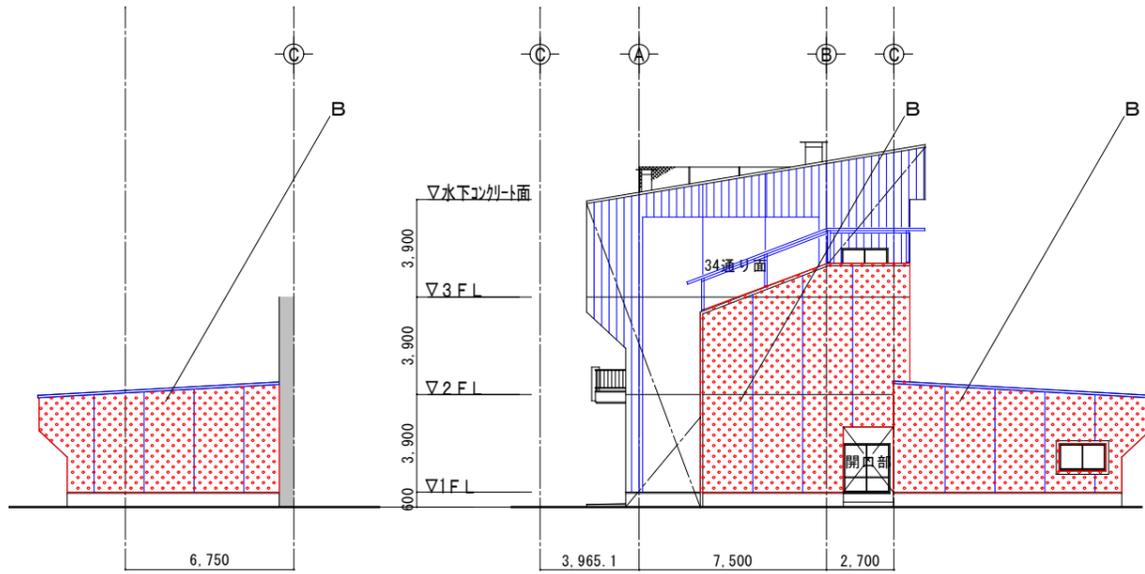
改修 南立面図 S=1/200



改修 北立面図 S=1/200

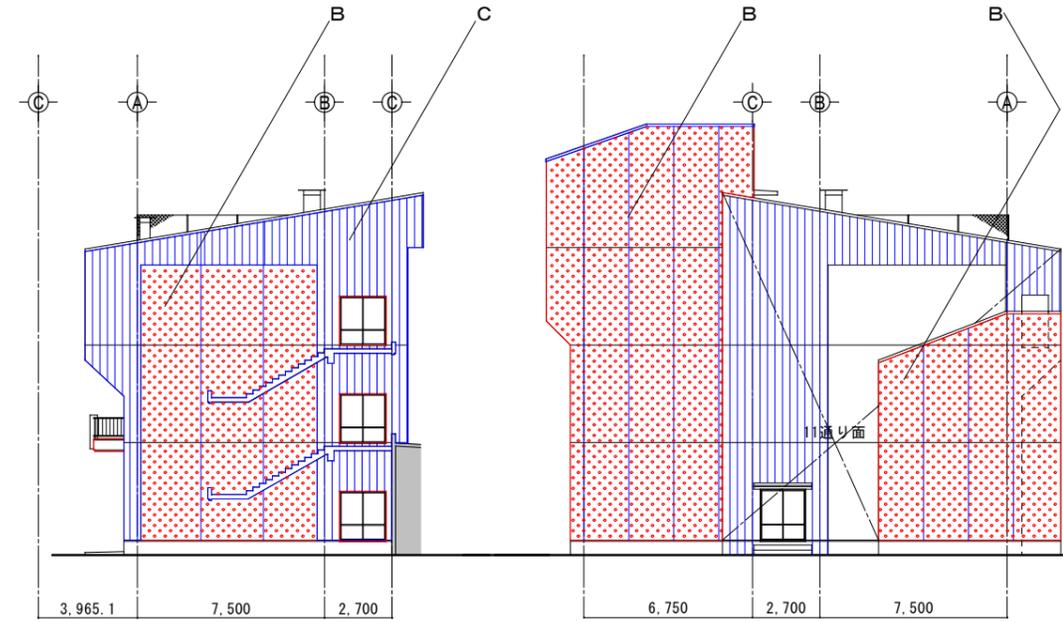
共 通	
サッシ廻りシーリング	
サッシ (四方)	撤去、打替え MS-2 15×10
サッシ (水切上)	撤去、打替え MS-2 15×10
掃出サッシ (水切下)	撤去、打替え MS-2 15×10
躯体打継目地	撤去、打替え MS-2 20~30×10
躯体目地	撤去、打替え MS-2 15×10

記号	仕 様
A	既存 アクリル系リシン 改修 ① 改修 外壁塗装 (一般工法)
B	既存 複層塗材E 改修 ① 改修 外壁塗装 (一般工法) 改修 ② 改修 補修 (剥離剤工法) 改修 ③ 改修 補修 (ポリマーセメント充填工法)
C	既存 コンクリート打放 改修 ④ 改修 外壁塗装 (撥水工法)
D	既存 RC造、モルタル塗り、複層塗材 改修 外壁カバー工法
E	既存 ALC版 アクリル系リシン 改修 ⑤ 改修 ALC外壁、軒天塗装 (一般工法)
F	既存 スチール製手摺、OP塗 改修 ⑨ 改修 鉄部塗装 1



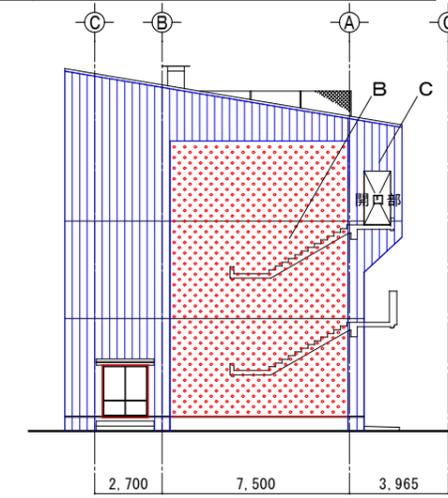
33A通り

西 立 面 図



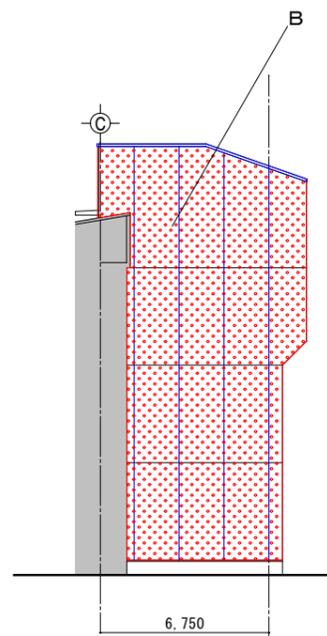
34通り

東 立 面 図



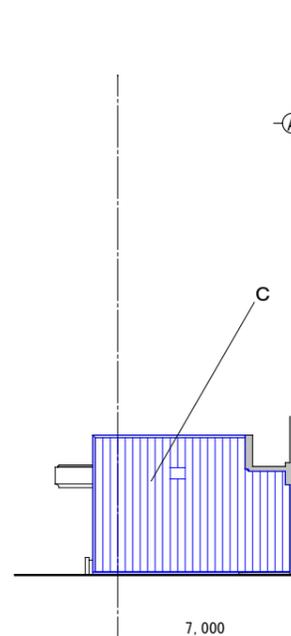
11通り

西 立 面 図

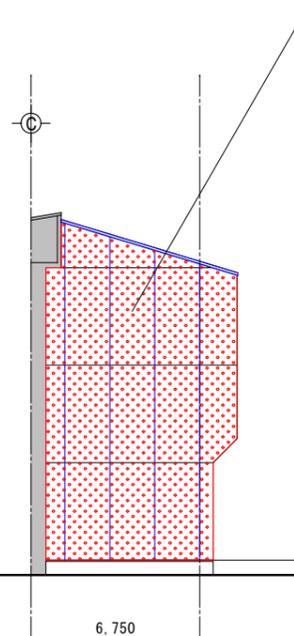


13通り

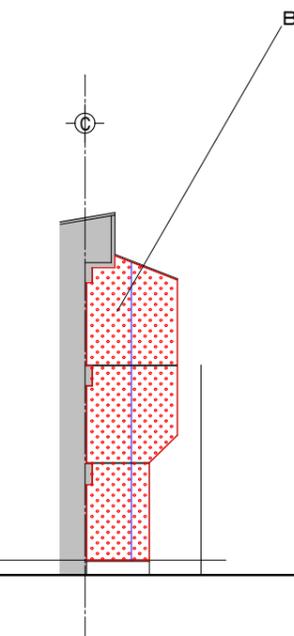
東 立 面 図



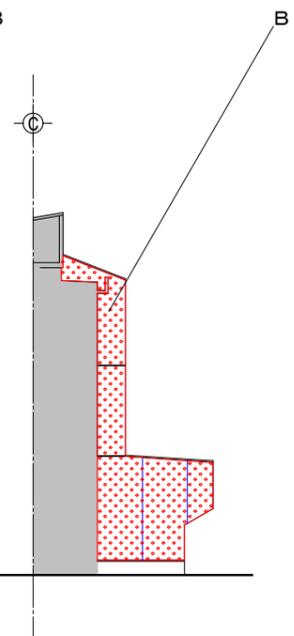
25A通り



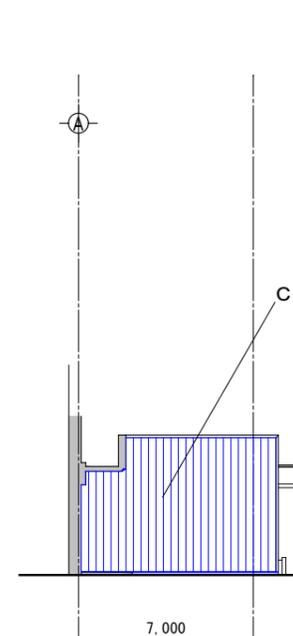
26通り



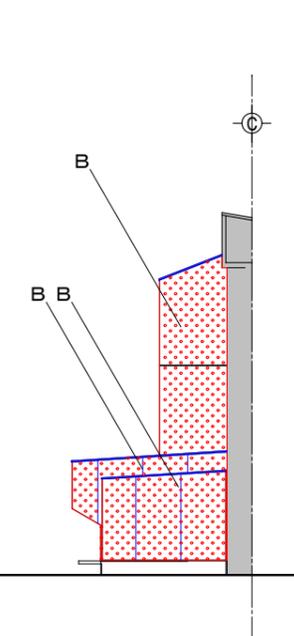
22+2,000通り



22通り

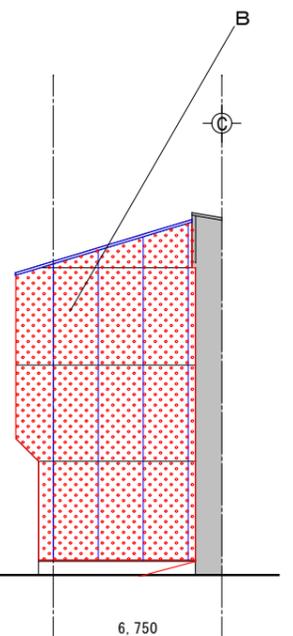


24通り

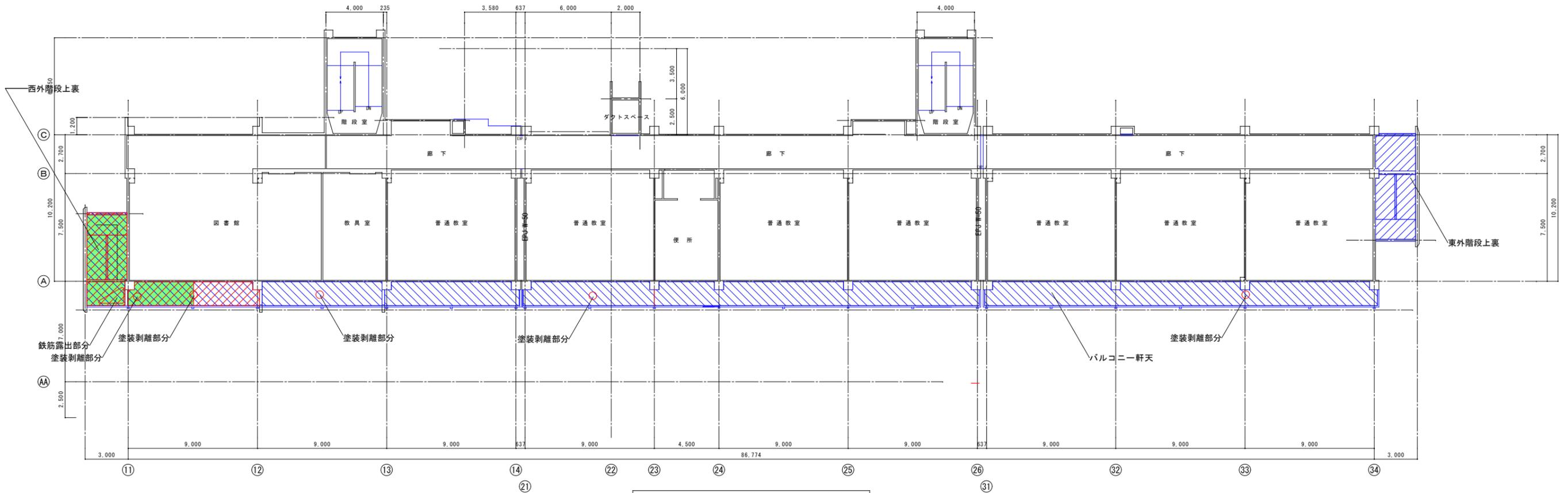


20通り

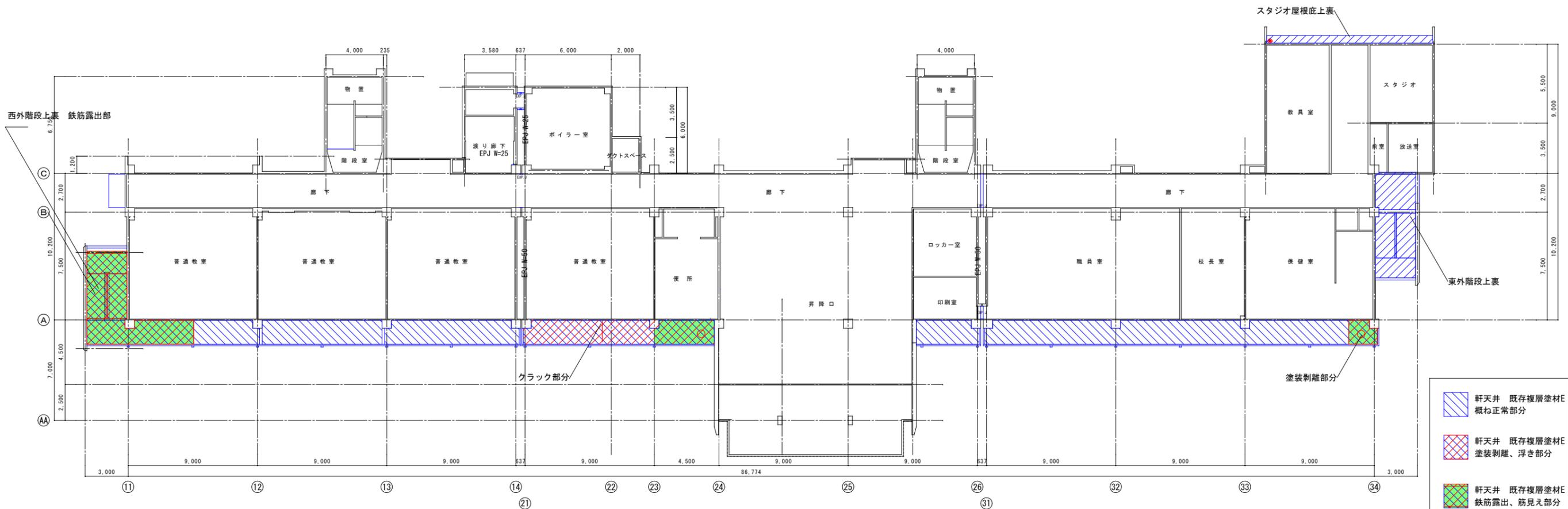
西 立 面 図



25B通り

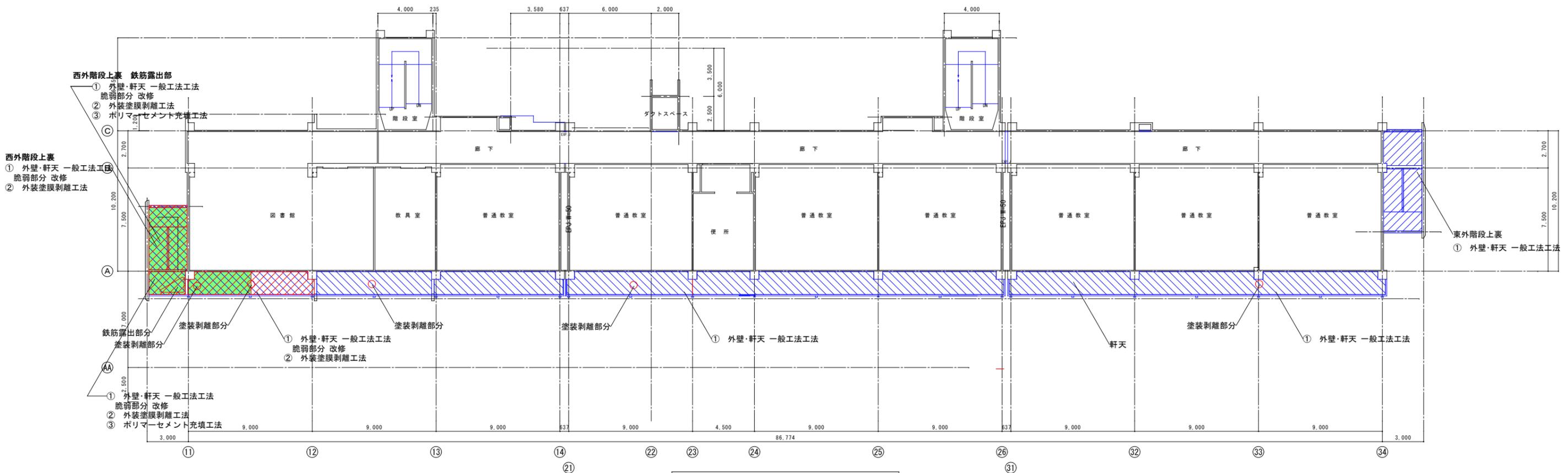


既存 2階天井伏せ図 S=1/200



既存 1階天井伏せ図 S=1/200

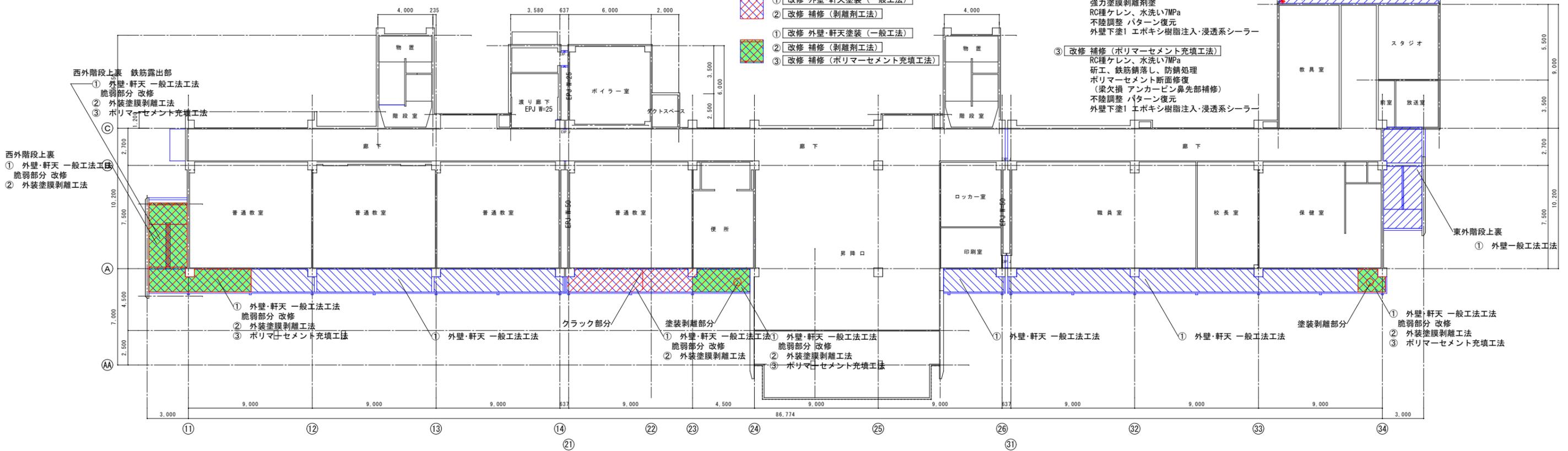
- 軒天井 既存複層塗材
概ね正常部分
- 軒天井 既存複層塗材E
塗装剥離、浮き部分
- 軒天井 既存複層塗材E
鉄筋露出、筋見え部分



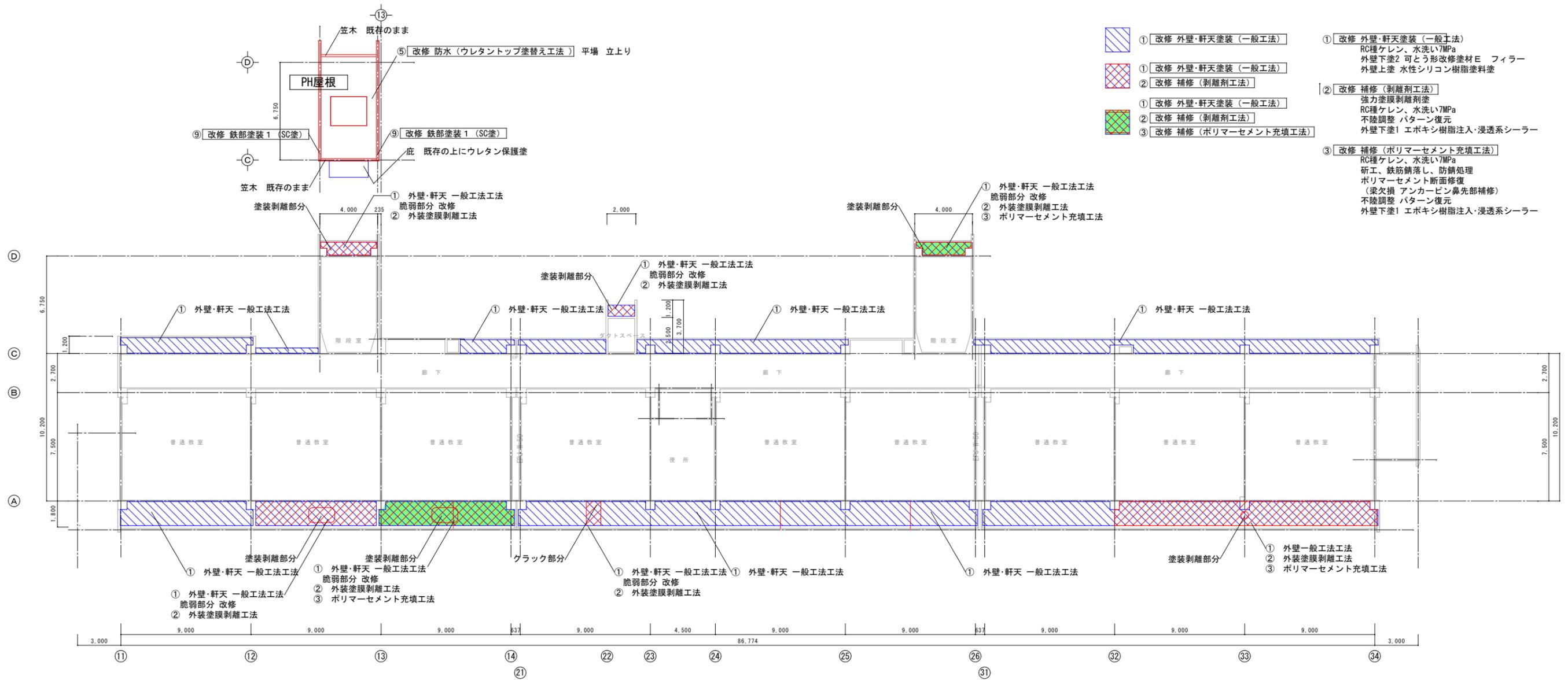
改修 2階天井伏せ図 S=1/200

-  ① 改修 外壁・軒天塗装（一般工法）
-  ① 改修 外壁・軒天塗装（一般工法）
② 改修 補修（剝離剤工法）
-  ① 改修 外壁・軒天塗装（一般工法）
② 改修 補修（剝離剤工法）
③ 改修 補修（ポリマーセメント充填工法）

- ① 改修 外壁・軒天塗装（一般工法）
RC種ケレン、水洗い7MPa
外壁下塗2 可とう形改修塗材E フィラー
外壁上塗 水性シリコン樹脂塗料塗
- ② 改修 補修（剝離剤工法）
強力塗膜剝離剤塗
RC種ケレン、水洗い7MPa
不陸調整 パターン復元
外壁下塗1 エポキシ樹脂注入・浸透系シーラー
- ③ 改修 補修（ポリマーセメント充填工法）
RC種ケレン、水洗い7MPa
研工、鉄筋錆落し、防錆処理
ポリマーセメント断面修復
（梁欠損 アンカーピン鼻先部補修）
不陸調整 パターン復元
外壁下塗1 エポキシ樹脂注入・浸透系シーラー

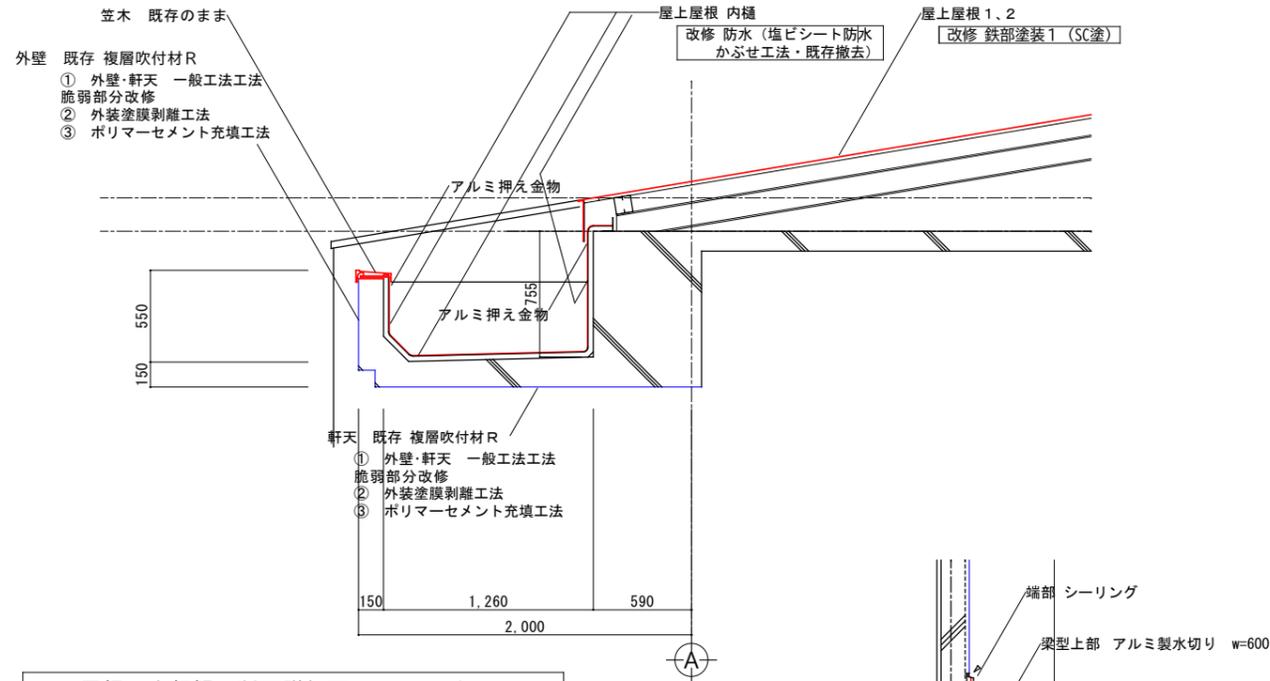


改修 1階天井伏せ図 S=1/200



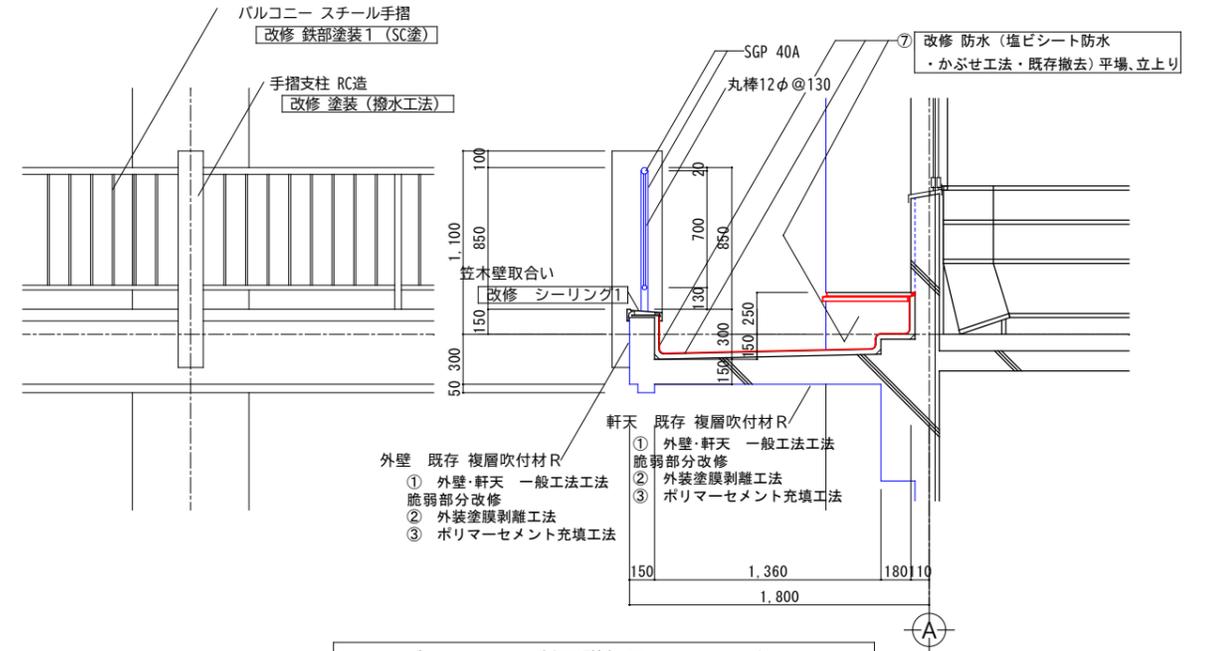
改修 3階 天井伏せ図 S=1/200

屋上屋根大内樋



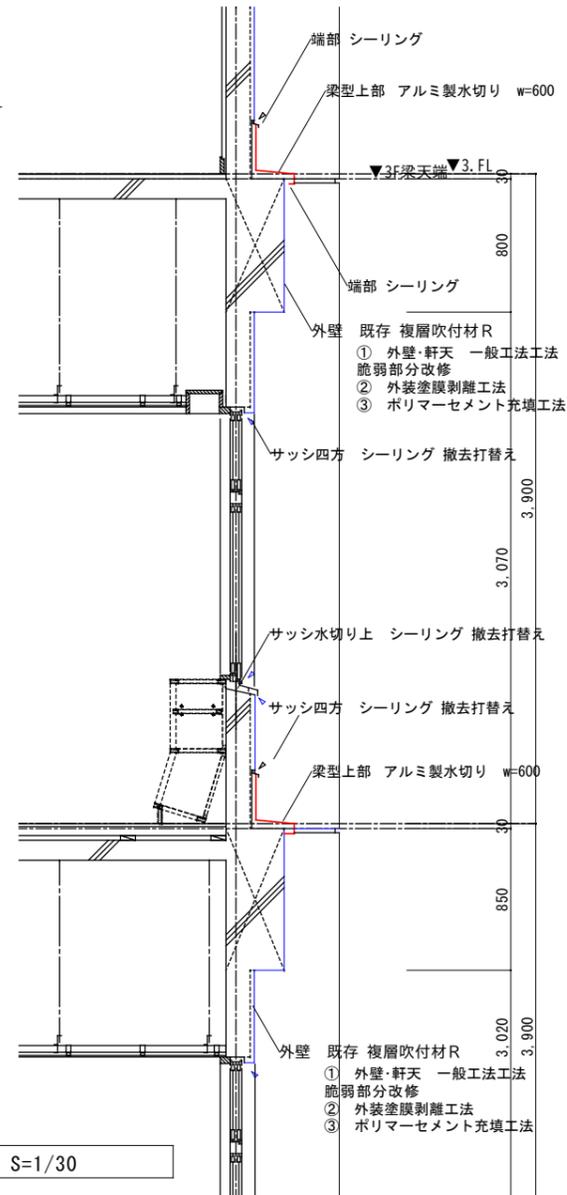
屋根 大軒樋 断面詳細図 S=1/30

バルコニー



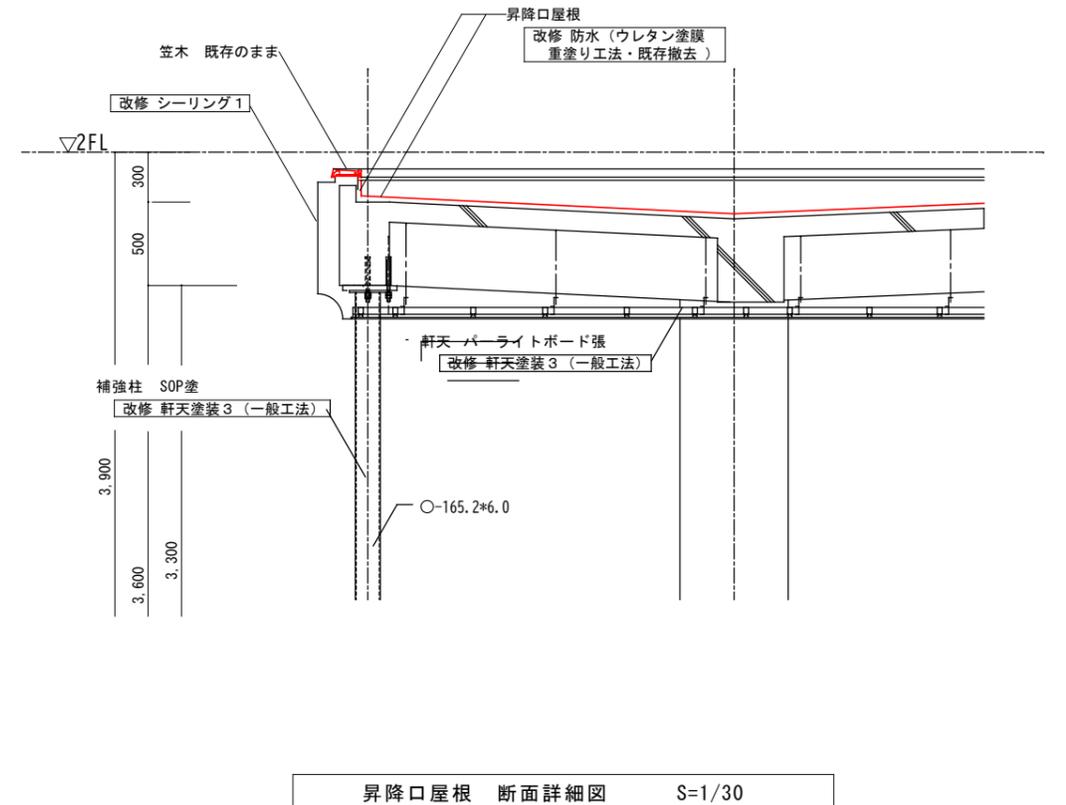
バルコニー 断面詳細図 S=1/30

一般 外壁



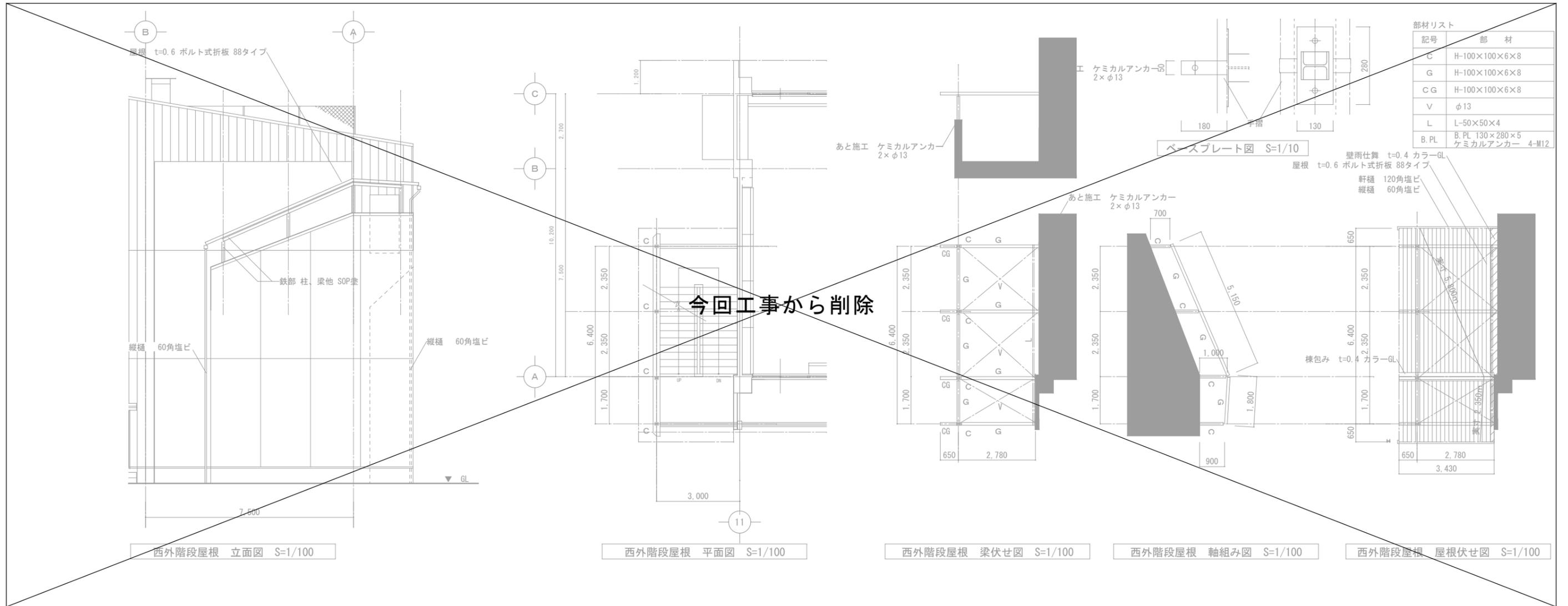
北面 外壁 断面詳細図 S=1/30

昇降口屋根



昇降口屋根 断面詳細図 S=1/30

工事断面部分を示す



西外階段屋根 立面図 S=1/100

西外階段屋根 平面図 S=1/100

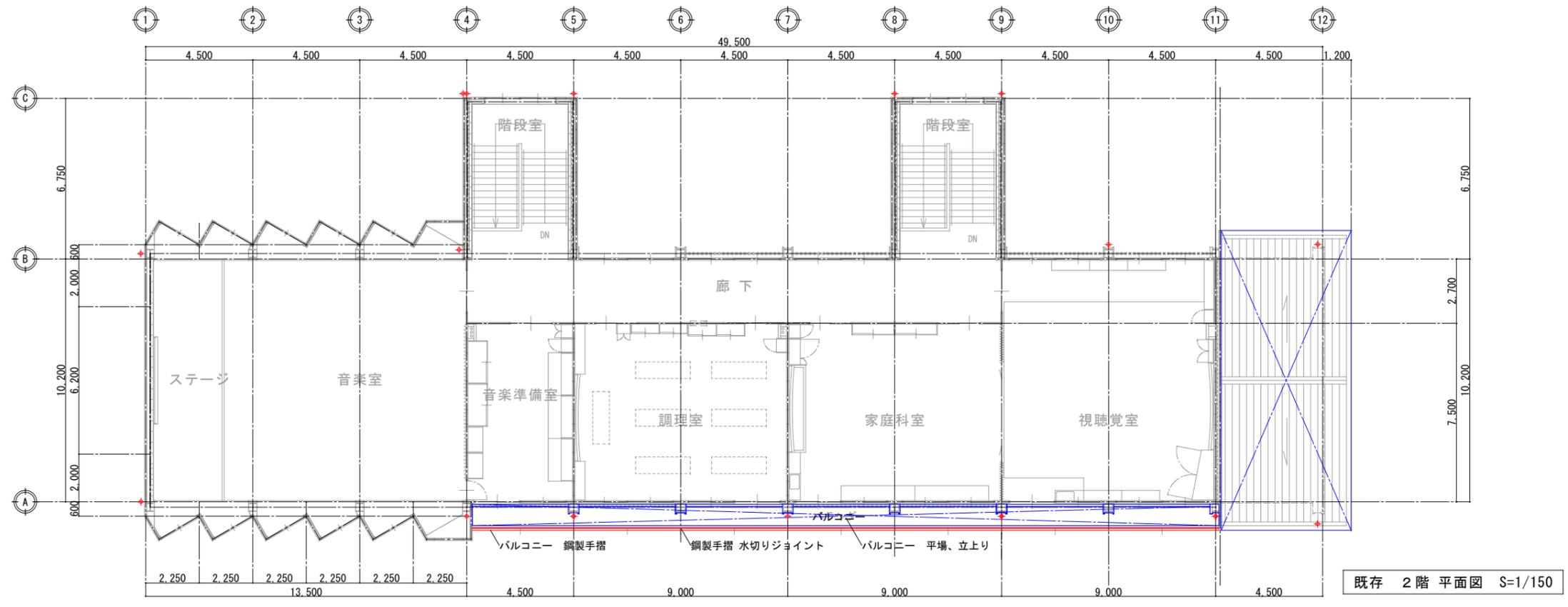
西外階段屋根 梁伏せ図 S=1/100

西外階段屋根 軸組み図 S=1/100

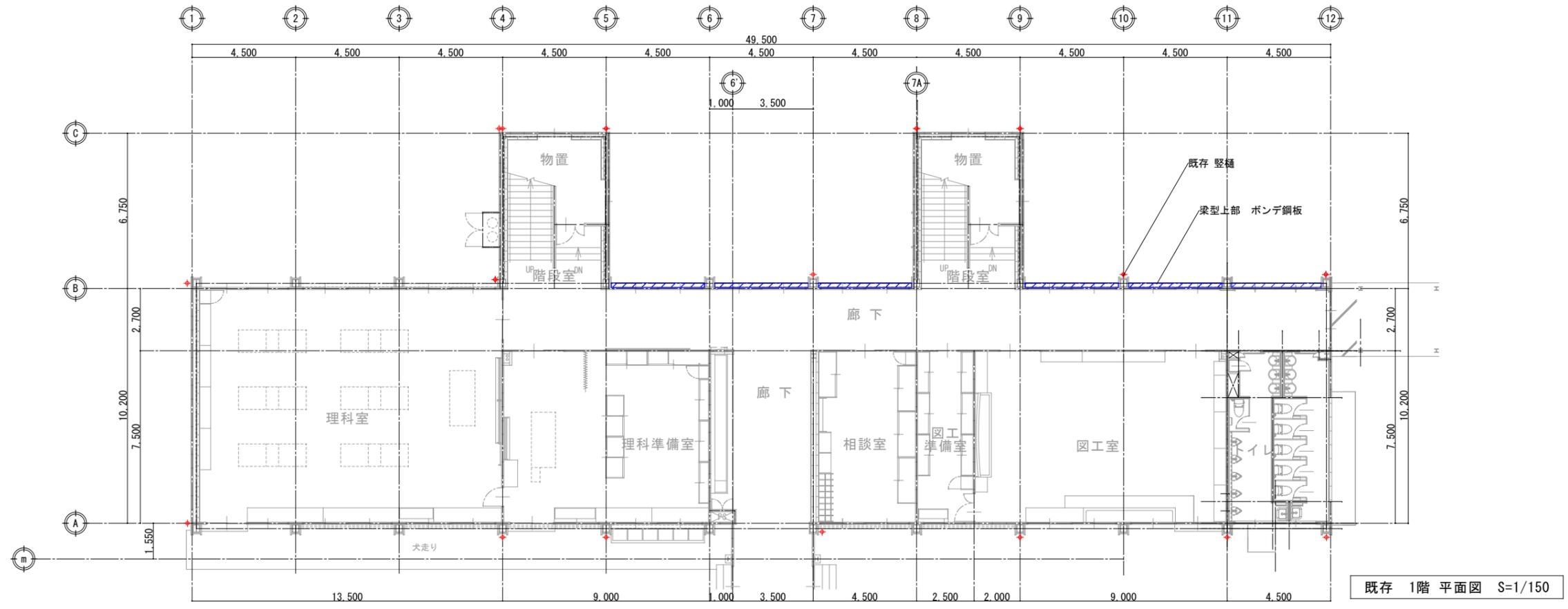
西外階段屋根 屋根伏せ図 S=1/100

【特別教室棟】 外部仕上表									
外 壁 (既存ALC複層塗材) (一般部)	改修前	ALC版下地 複層塗材E	1階屋根	改修前	1階屋根 折版 山高180@250				
	改修後	RC種ケレン、水洗い (7MPa) 下塗り1 シーラー塗 ⑤ 下塗り2 (微弾性フィラー 可とう形改修塗材E) 上塗り 耐候形1種 水性シリコン樹脂塗料塗		改修後	⑧ 高圧洗浄 (15MPa)、ケレン アクリルゴム系塗膜防水工法 プライマー シリコン塗装塗 内樋入隅 アクリルゴム+合成繊維不織布 壁水切り、ボンデ鋼板幕板 プライマー・シリコン塗装塗 ボルトキャップ				
外 壁 (既存ALC複層塗材) (塗膜欠損、膨れ部)	改修前	ALC版下地 複層塗材E	2階教室屋根 内樋、ハゼ、役物	改修前	2階教室屋根 瓦葺葺き@430鋼製、音楽室屋根軒先 立ハゼ葺 SOP塗				
	改修後	RC種ケレン、水洗い (7MPa) AIC補修材塗 ⑤ 下塗り1 シーラー塗 下塗り2 (微弾性フィラー 可とう形改修塗材E) 上塗り 耐候形1種 水性シリコン樹脂塗料塗		改修後	⑧ 高圧洗浄 (15MPa)、ケレン アクリルゴム系塗膜防水工法 シリコン塗装塗 内樋 同上、既存防水部 プライマー・シリコン塗装 はぜ部両側、内樋入隅他 アクリルゴム+合成繊維不織布				
1.2階バルコニー軒天 各所軒天 (一般部)	改修前	EP塗	2階音楽室屋根軒先 幕板、笠木、水切り 雪止めアングル 外壁 耐震補強プレス 煙突側面、梯子	改修前	2階音楽室軒先屋根 立ハゼ葺き				
	改修後	RC種ケレン、高圧洗浄 (7MPa) 水性反応硬化形軒天井用仕上塗材塗		改修後	⑩ 高圧洗浄 (15MPa)、ケレン 変性エポキシ樹脂錆止め塗料塗 プライマー、シリコン樹脂屋根用塗料塗 屋根笠木 t=0.4 GL鋼板被せ				
バルコニー手摺 各所鋼製水切り	改修前	SOP塗	2階音楽室屋根 (音楽室)	改修前	鋼板 瓦葺葺				
	改修後	RC種ケレン、高圧洗浄 (15MPa) 変性エポキシ樹脂錆止め塗料塗 ⑨ プライマー、シリコン樹脂屋根用塗料塗 手摺笠木 t=0.4 GL鋼板被せ		改修後	改修 屋根カバー工法 t=0.5 カラーGL 嵌合式折板葺、裏張 t=4 ポリフォーム 働き幅≒426 タイトフレーム キャッチ金具、一般金具、その他役物 棟包み w=500、ケラバ包み、他役物 t=0.4 カラーGL鋼板 下地共 雪止め金具 羽根型 1山づづ 煙突廻り水上雨仕舞 w=1300程度、取り合い水切り t=0.4 カラーGL鋼板				
外壁 耐震補強プレス	改修前	鋼製 SOP塗		改修前					
	改修後	高圧洗浄 (15MPa)、ケレン 変性エポキシ樹脂錆止め塗料塗 ⑨ プライマー、シリコン樹脂屋根用塗料塗		改修後					
縦樋 白ガス管 h=1500 軒樋	改修前	鋼製 SOP塗		改修前					
	改修後	高圧洗浄 (15MPa)、ケレン 変性エポキシ樹脂錆止め塗料塗 ⑨ プライマー、シリコン樹脂屋根用塗料塗		改修後					
塩ビ縦樋	改修前	塩ビ製パイプ		改修前					
	改修後	RC種ケレン、高圧洗浄 (15MPa) 塩ビ改修用プライマー、シリコン樹脂塗料塗		改修後					
塩ビ軒樋	改修前	既存シート防水シート撤去		改修前					
	改修後	高圧洗浄 (15MPa)、ケレン 防 下地調整、仮防水材OZ ② ウレタン塗膜防水 塗重ね工法：X-1、ウレタントップ仕上 立上り脱気盤、ルーフトレーン周り擦り合わせ防水納め 水切り取合い：端末押えシーリング 撤去、打替え アルミ押え金物共		改修後					
2階バルコニー (平場、立上り)	改修前		ネットフェンス	改修前					
	改修後			改修後					

- 改修 工法仕様 改修 ***工法 のみを各図面に示す
- 防水工事
 - ① 改修 防水 (ウレタン塗膜・重塗り工法)
 - 防水部高圧洗浄 15MPa、ケレン
 - 平場 ウレタン塗膜防水 重ね塗り (X-1)
 - 立上り ウレタン塗膜防水 重ね塗り (X-2)
 - 立上り 脱気盤 ルーフドレーン 防水納め
 - ② 改修 防水 (ウレタン塗膜・重塗り工法・既存撤去) 平場 立上り
 - 防水部高圧洗浄 15MPa、ケレン
 - 下地調整、仮防水 (バラテックス程度)
 - ウレタン塗膜防水 重ね塗り (X-1)
 - ③ 改修 防水 (ウレタン塗膜工法) 平場 立上り
 - 防水部高圧洗浄 15MPa、ケレン
 - ウレタン塗膜防水 X-2 ノンクロスタイプ
 - ④ 改修 防水 (ウレタン塗膜工法 段鼻)
 - 防水部高圧洗浄 15MPa、ケレン
 - ウレタン塗膜防水 X-2 セラミックノンスリ
 - ⑤ 改修 防水 (ウレタントップ塗替え工法) 平場 立上り
 - 防水部高圧洗浄 15MPa、ケレン
 - ウレタン トップコート塗替え
 - 端末押え 撤去打替え MS-2
 - ⑥ 改修 防水 (塩ビシート防水・かぶせ工法) 平場 立上り
 - 防水部高圧洗浄 15MPa、ケレン
 - 緩衝フォーム敷込み 積層鋼板取付、防水押えアングル
 - t=1.5 塩ビシート t=1.5
 - ⑦ 改修 防水 (塩ビシート防水・かぶせ工法・既存撤去) 平場 立上り
 - 下地調整、仮防水 (バラテックス程度)
 - 防水部高圧洗浄 15MPa、ケレン
 - 緩衝フォーム敷込み 積層鋼板取付、防水押えアングル
 - t=1.5 塩ビシート t=1.5
 - 脱気筒、ドレーン周り擦合わせ
 - ⑧ 改修 防水 (アクリルゴム系塗膜防水工法)
 - 高圧洗浄 15MPa、ケレン
 - アクリルゴム系塗膜防水 シリコン塗装
 - シーリング
 - ① 改修 シーリング1
 - 撤去打替え MS-2
 - ② 改修 シーリング2
 - 端末押えシーリング 撤去打替え MS-2
 - ③ 改修 シーリング3
 - シーリング 増打 MS-2
 - ルーフドレーン
 - ① 改修用ルーフトレーン φ100
 - 改修用ルーフトレーン取付
 - ② ルーフドレーン防水納め
- 塗装工事
 - ① 改修 外壁・軒天塗装 (一般工法)
 - RC種ケレン、水洗い7MPa
 - 外壁下塗り2 可とう形改修塗材E フィラー
 - 外壁上塗り 水性シリコン樹脂塗料塗
 - ② 改修 補修 (剥離剤工法)
 - 強力塗膜剥離剤塗
 - RC種ケレン、水洗い7MPa
 - 不陸調整、パターン復元
 - 外壁上塗り エポキシ樹脂注入・浸透系シーラー
 - ③ 改修 補修 (ポリマーセメント充填工法)
 - RC種ケレン、水洗い7MPa
 - 研工、鉄筋錆落し、防錆処理
 - ポリマーセメント断面修復
 - (梁欠損 アンカーピン鼻先部補修)
 - 不陸調整 パターン復元
 - 外壁上塗り エポキシ樹脂注入・浸透系シーラー
 - ④ 改修 塗装 (撥水工法)
 - RC種ケレン、水洗い7MPa
 - 撥水剤塗料塗 (シリコン系)
 - ⑤ 改修 ALC外壁・軒天塗装1 (一般工法)
 - RC種ケレン、水洗い7MPa
 - 外壁上塗り エポキシ樹脂注入・浸透系シーラー
 - 外壁下塗り2 可とう形改修塗材E
 - 外壁上塗り 水性シリコン樹脂塗料塗
 - ⑥ 改修 軒天塗装2 (一般工法) アクリルリシン
 - RC種ケレン、水洗い7MPa
 - 外壁薄塗塗材E
 - ⑦ 改修 軒天塗装3 (一般工法)
 - RC種ケレン、水洗い7MPa
 - 下塗り エマルジョンシーラー
 - 上塗り 水性反応硬化形軒天常用仕上塗料塗
 - ⑧ 改修 塗装 (EP塗)
 - RC種ケレン、水洗い7MPa
 - 合成樹脂エマルジョンベイント塗
 - 模様復元 形複層塗材塗
 - ⑨ 改修 鉄部塗装1 (SC塗)
 - RC種ケレン、水洗い15MPa
 - 変性エポキシ樹脂錆止め塗料塗、プライマー
 - シリコン樹脂塗料塗
 - ⑩ 改修 鉄部塗装2 (SC塗)
 - RC種ケレン、水洗い15MPa
 - シリコン樹脂塗料塗
 - ⑪ 改修 鉄部塗装3 (アルマ)
 - RC種ケレン、水洗い15MPa
 - 変性エポキシ樹脂錆止め塗料塗、アルマプライマー
 - 上塗り ハイアルマ塗 程度

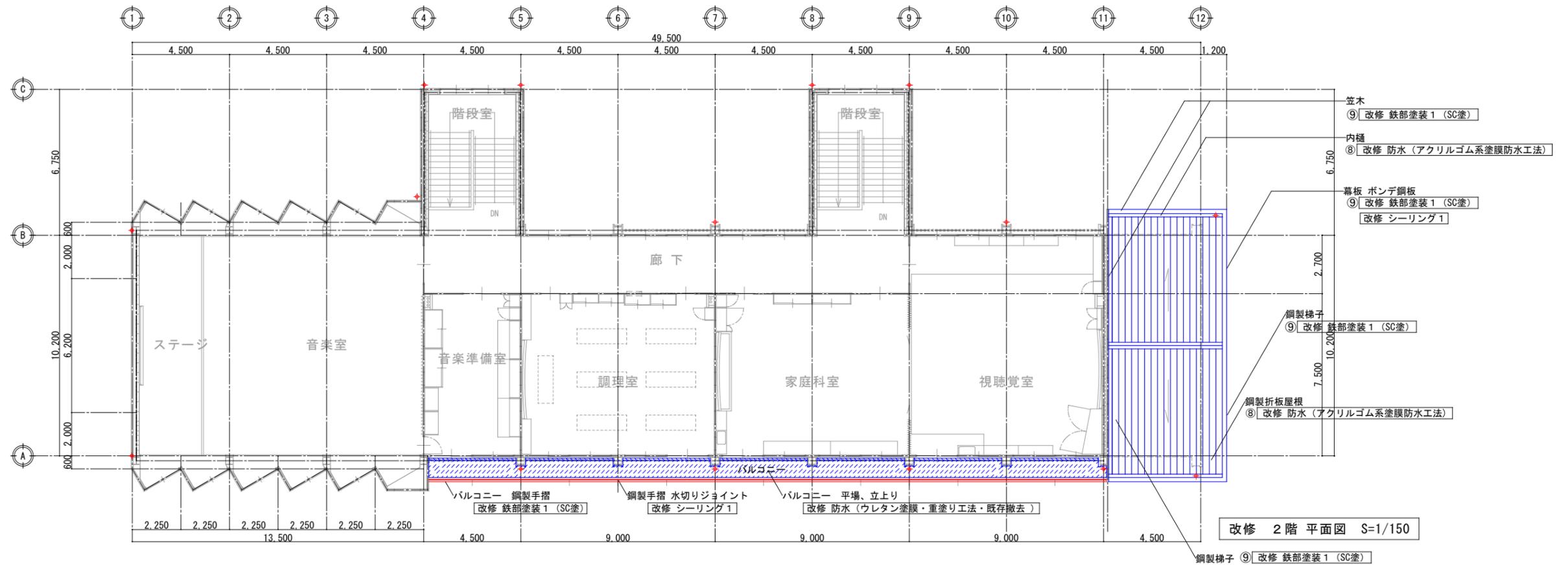


既存 2階平面図 S=1/150

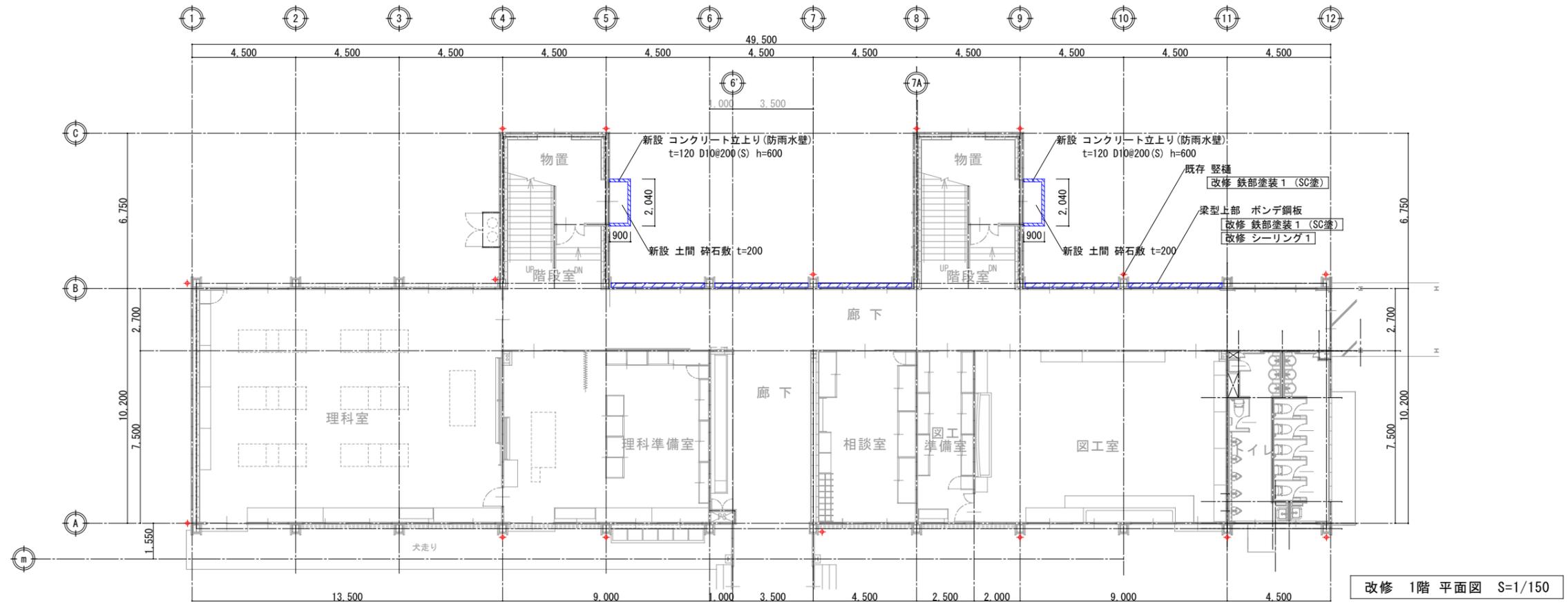


既存 1階平面図 S=1/150

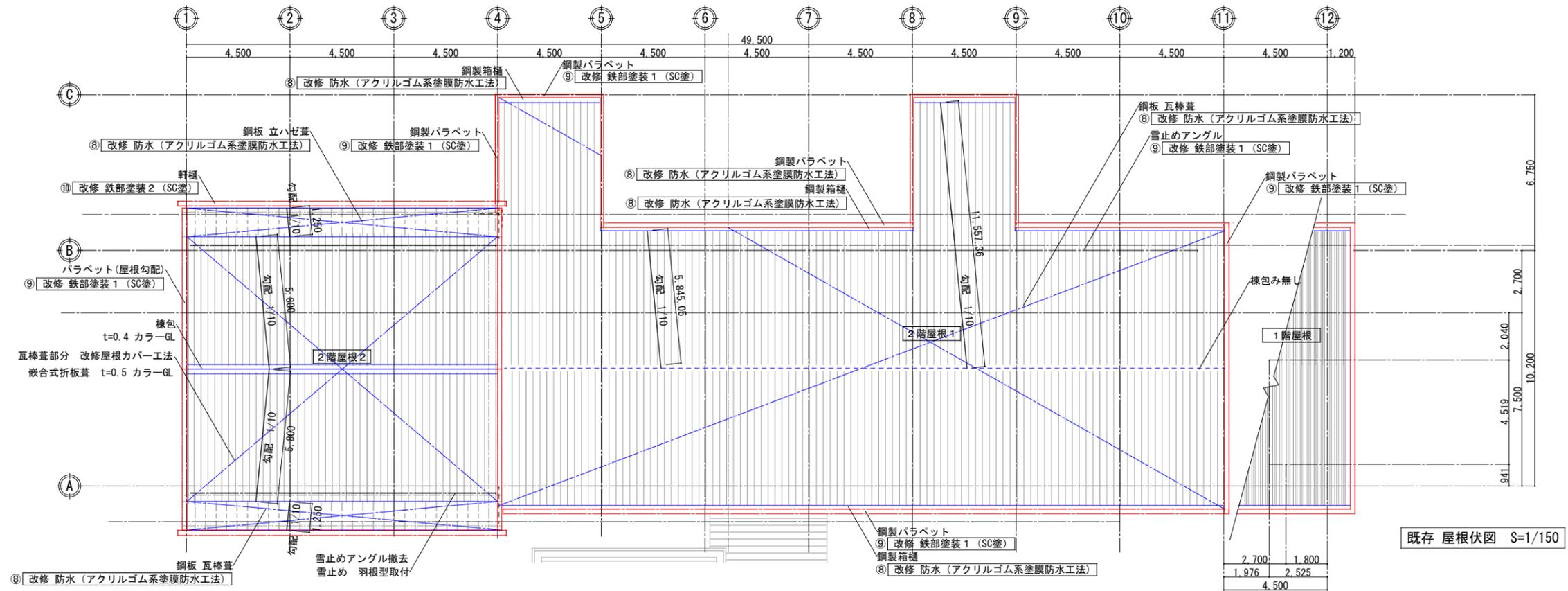
工事部分を示す



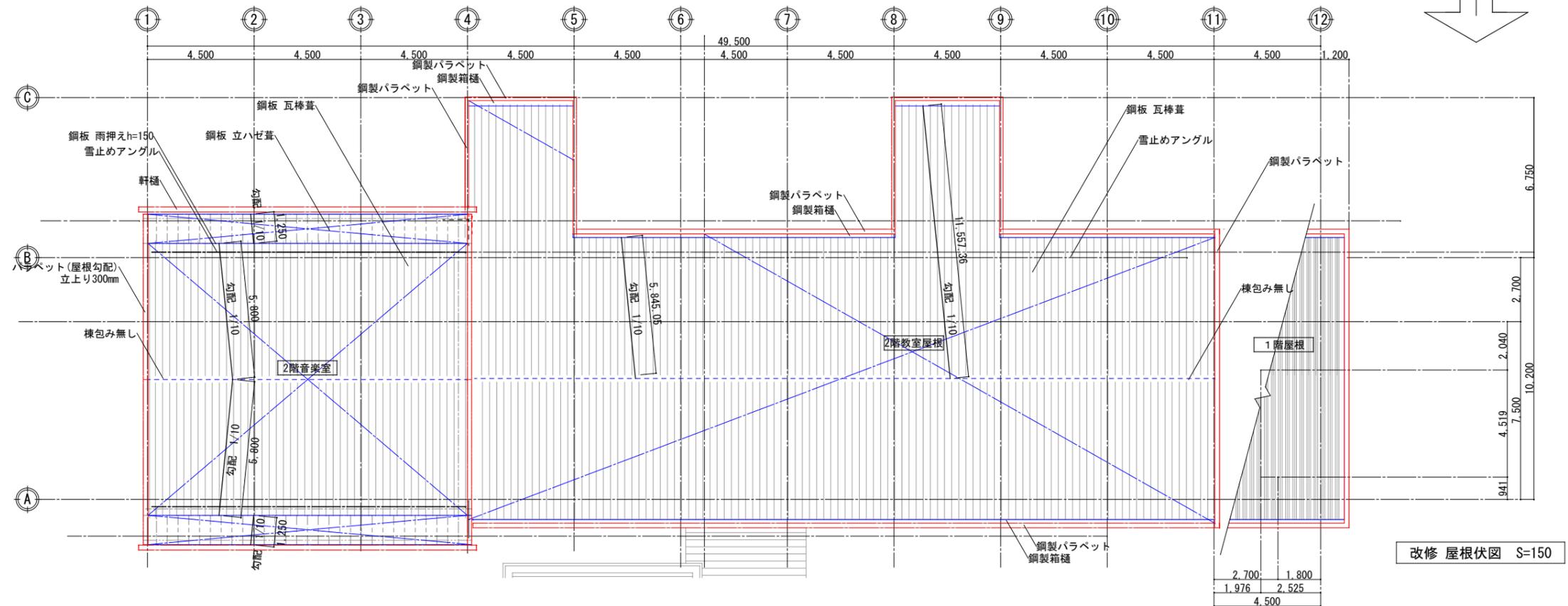
改修 2階平面図 S=1/150



改修 1階平面図 S=1/150



既存 屋根伏図 S=1/150

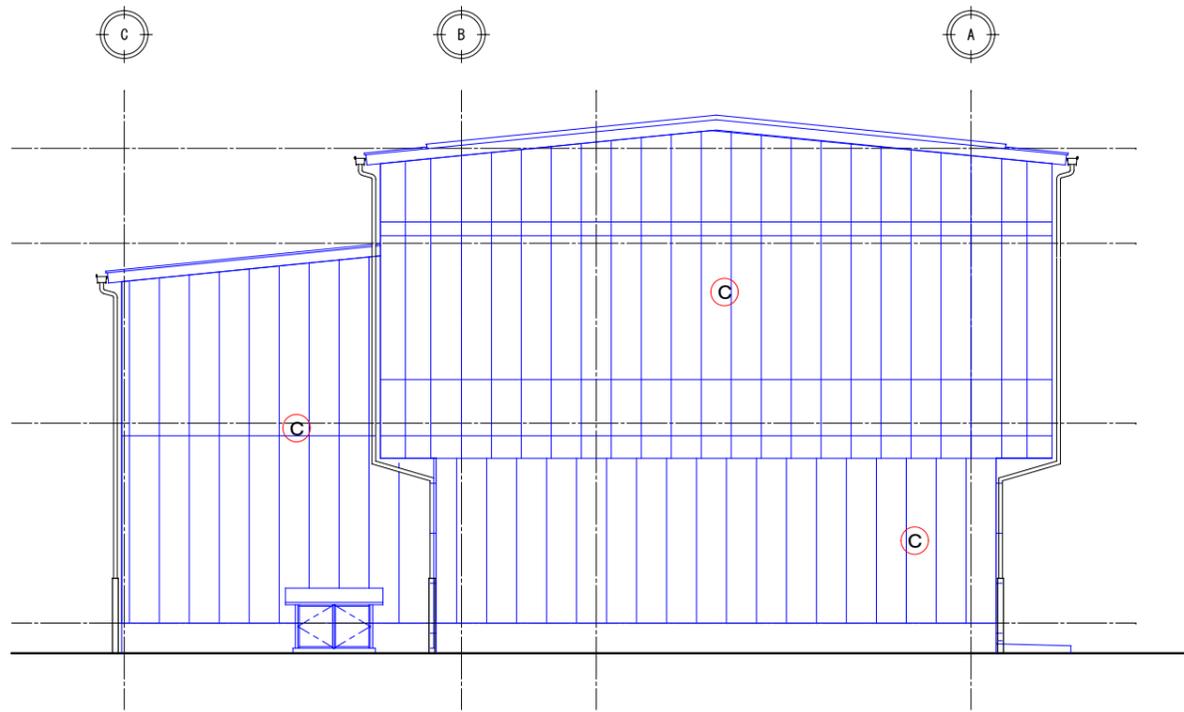


改修 屋根伏図 S=150

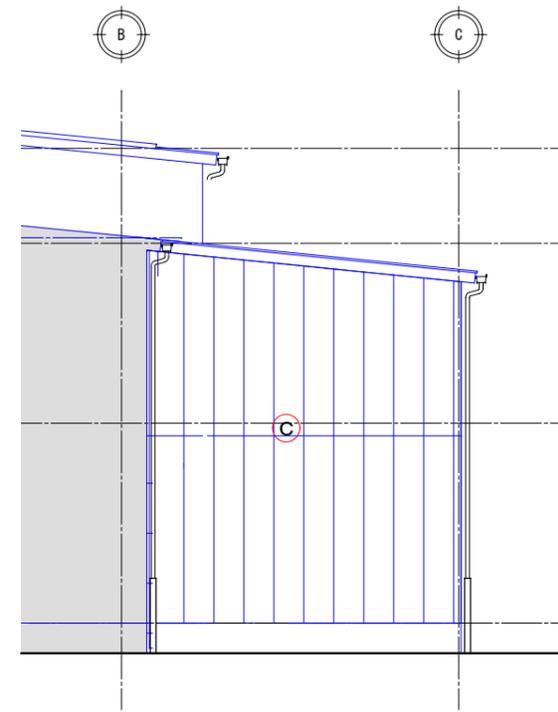
工事部分を示す

I

I



既存 西側立面図 S=1/100

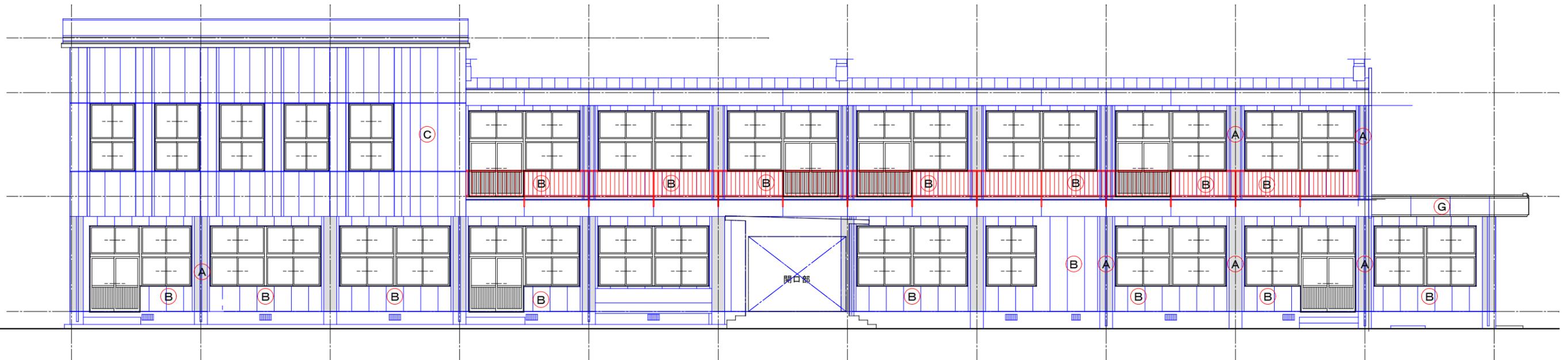
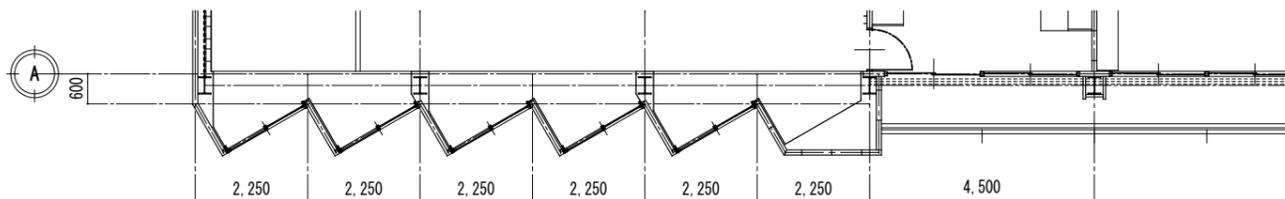


既存 西階段室西側立面図 S=1/100

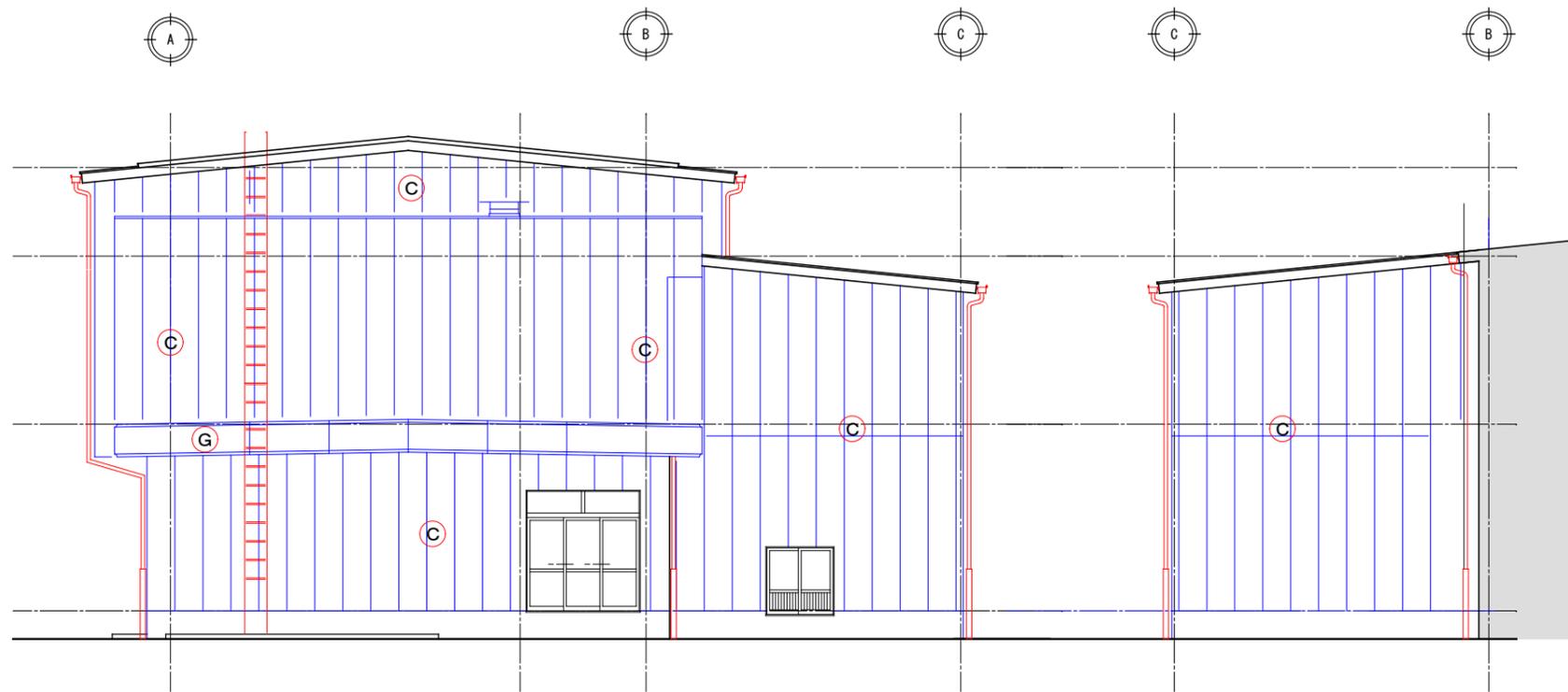


既存 凡例

- (A) 柱型 (1) 既存ALCパネル
- (B) 外壁 (1) 既存ALCパネル
- (C) 外壁 (2) 既存ALCパネル
- (D) 外壁 (3) 断熱スパンドレルサイディング
- (E) 外壁 (4) 押出成形セメント板 t=50
- (F) 外壁 (5) 既存鋼板製サイディング
- (G) 幕板 コルテン鋼 耐候性塗料仕上げ
- (H) 基礎 打ち放し
- (I) 吹き付けタイル
- トップコート吹き付け
- 吹き付けタイル
- PB t=15 下貼
- フッ素樹脂エナメル塗装 (常温乾燥型 2-FUE)

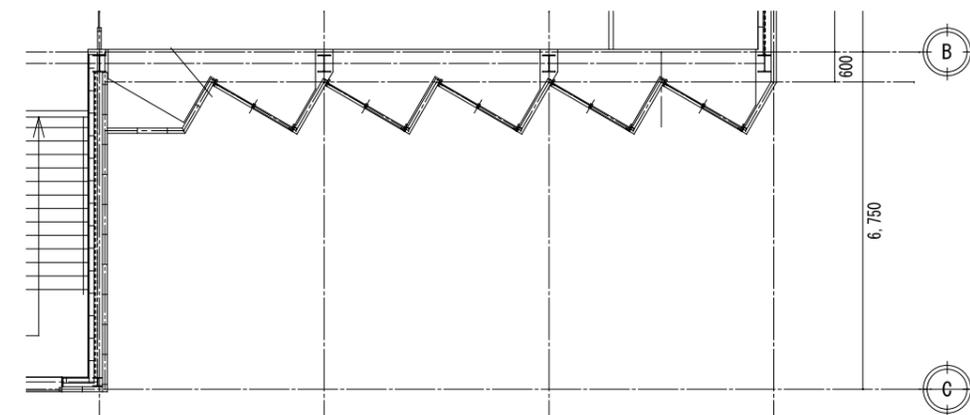


既存 南側立面図 S=1/100



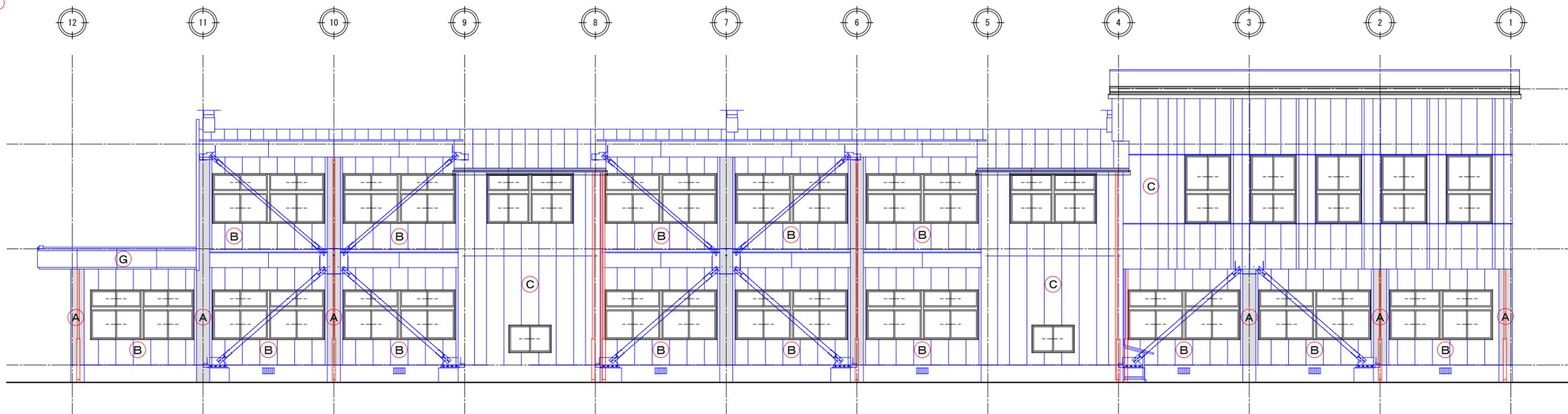
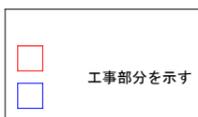
既存 東側立面図 S=1/100

既存 東階段東側立面図 S=1/100

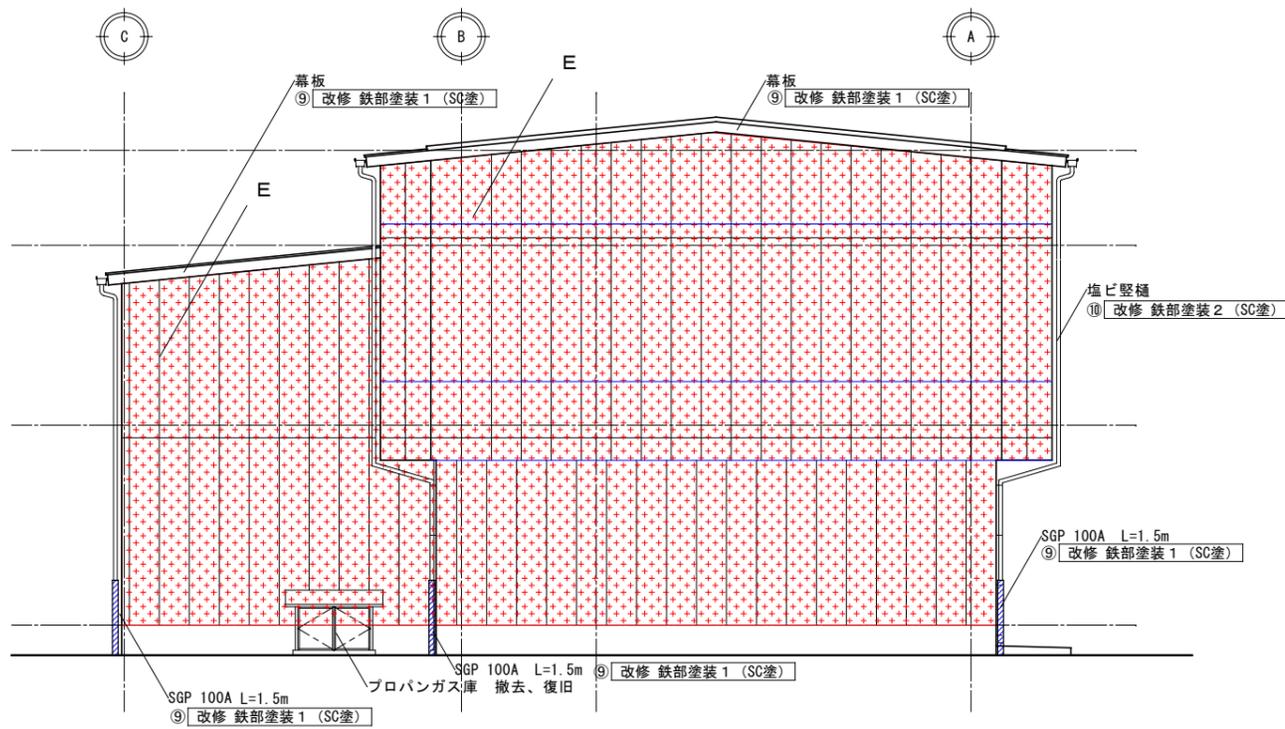


既存 凡例

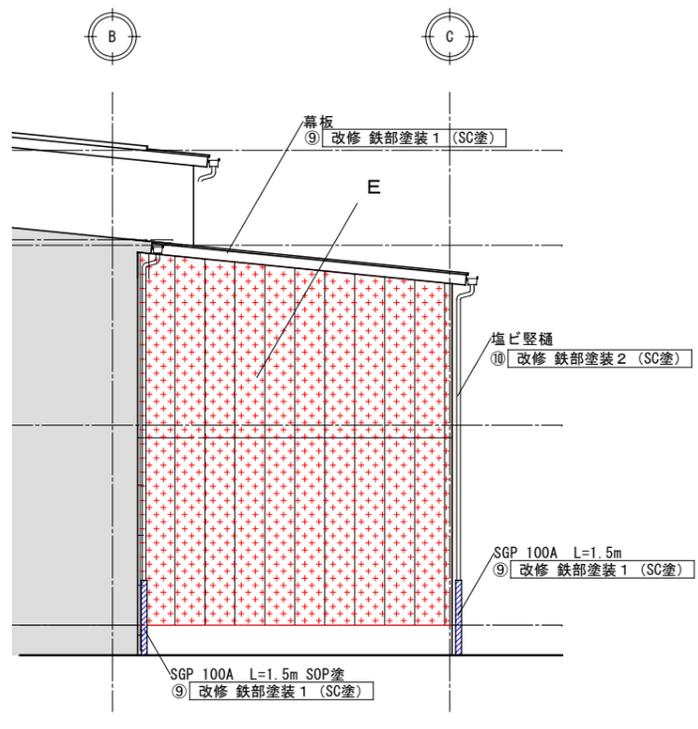
- A 柱型 (1) 既存ALCパネル
 - B 外壁 (1) 既存ALCパネル
 - C 外壁 (2) 既存ALCパネル
 - D 外壁 (3) 断熱スパンデルサイディング
 - E 外壁 (4) 押出成形セメント板 t=50
 - F 外壁 (5) 既存鋼板製サイディング
 - G 幕板 コルテン鋼 耐候性塗料仕上げ
 - H 基礎 打ち放し
 - I
- 吹き付けタイル
 - トップコート吹き付け
 - 吹き付けタイル
 - PB t=15 下貼
 - フッ素樹脂エナメル塗装 (常温乾燥型 2-FUE)



既存 北側立面図 S=1/100



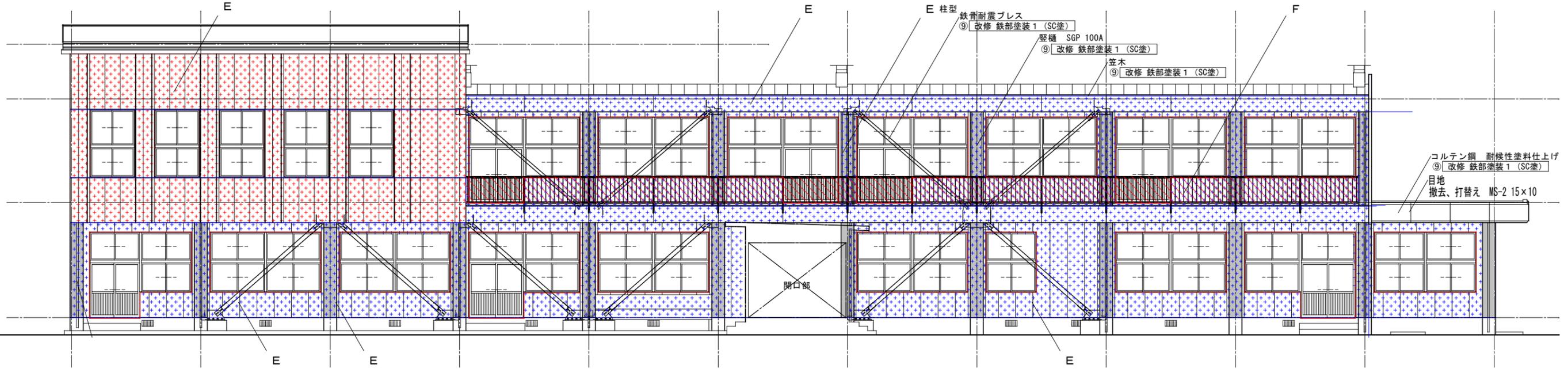
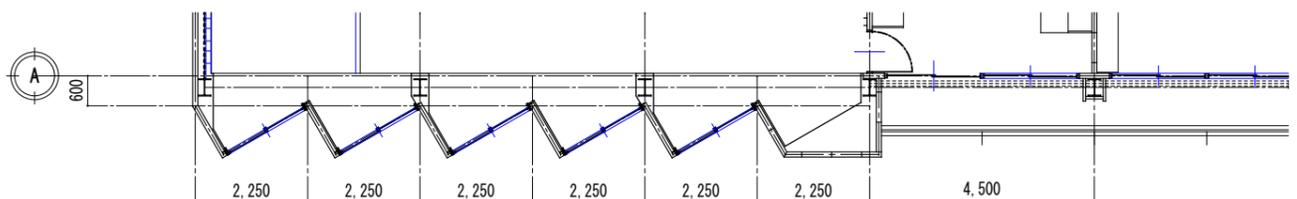
改修 西側立面図 S=1/100



改修 西階段室西側立面図 S=1/100

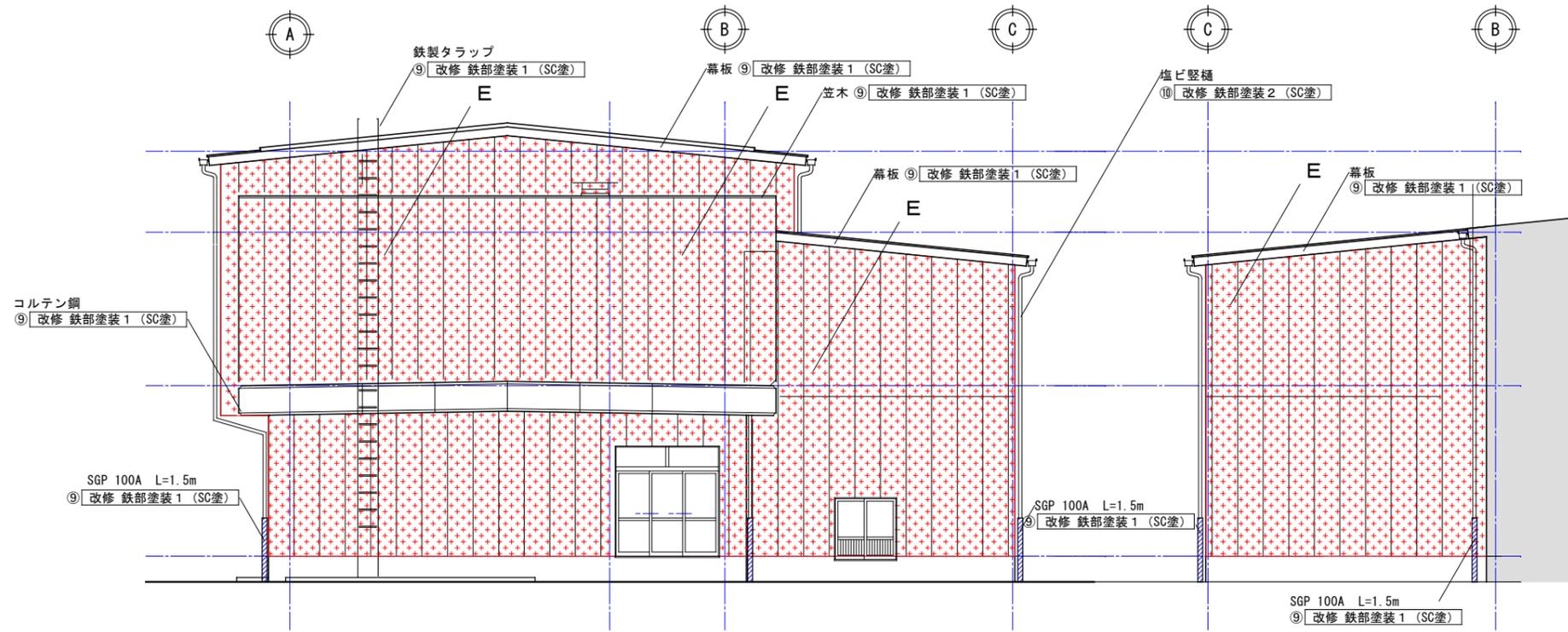
記号	仕様
A	既存 アクリル系リシン 改修 ① 改修 外壁塗装 (一般工法)
B	既存 複層塗材E 改修 ① 改修 外壁塗装 (一般工法) 改修 ② 改修 補修 (剥離剤工法) 改修 ③ 改修 補修 (ポリマーモルタル充填工法)
C	既存 コンクリート打放 改修 ④ 改修 外壁塗装 (撥水工法)
D	既存 RC造、モルタル塗り、複層塗材 改修 外壁カバー工法
E	既存 ALC版 アクリル系リシン 改修 ⑤ 改修 ALC外壁、軒天塗装 (一般工法)
F	既存 スチール製手摺、OP塗 改修 ⑨ 改修 鉄部塗装 1 (SC塗)

共 通	
サッシ廻りシーリング	
サッシ (四方)	増打ち MS-2 15×10
サッシ (水切上)	増打ち MS-2 15×10
掃出サッシ (水切下)	撤去、打替え MS-2 15×10
板間目地	増打ち MS-2 15×10
横目地	増打ち MS-2 15×10
ベランダ笠木	撤去、打替え MS-2 15×10
梁水切り継手	撤去、打替え MS-2 15×10
その他	増打ち MS-2 15×10

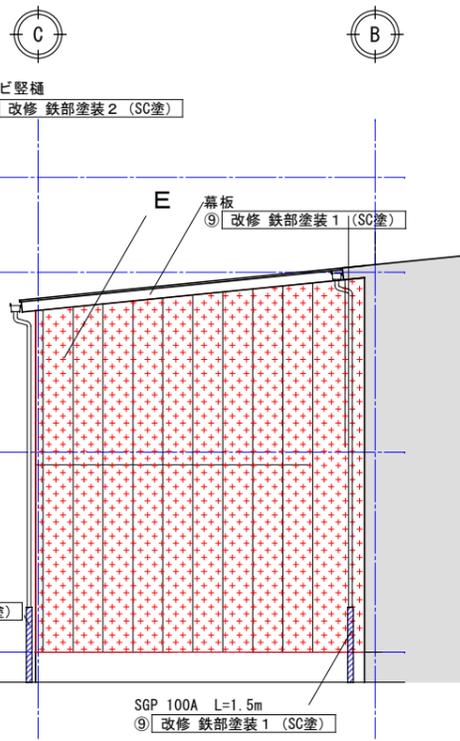


改修 南側立面図 S=1/100

特別教室棟



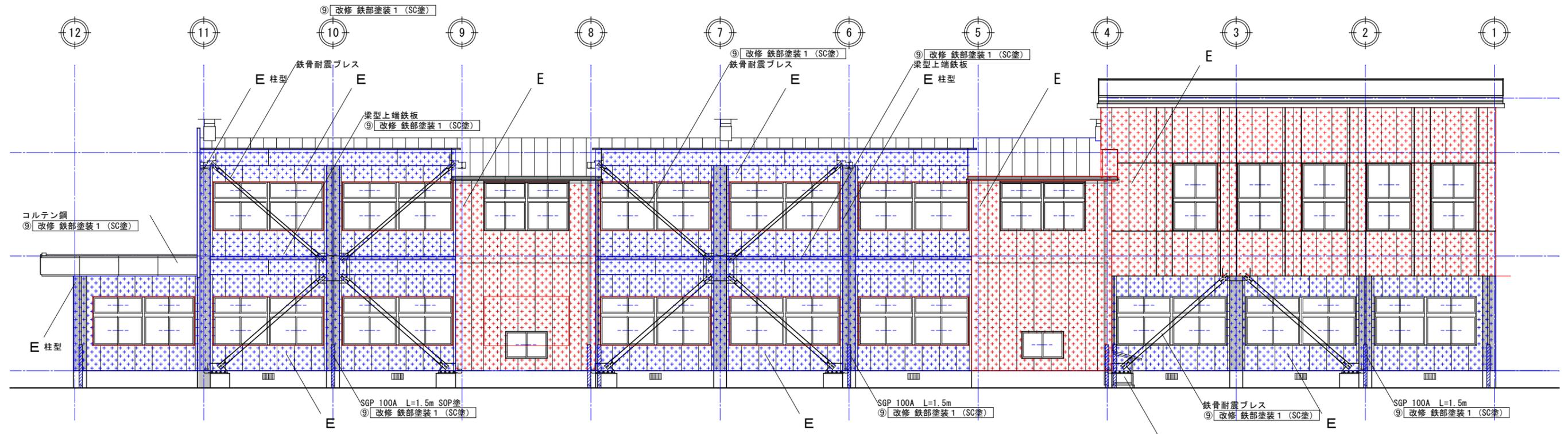
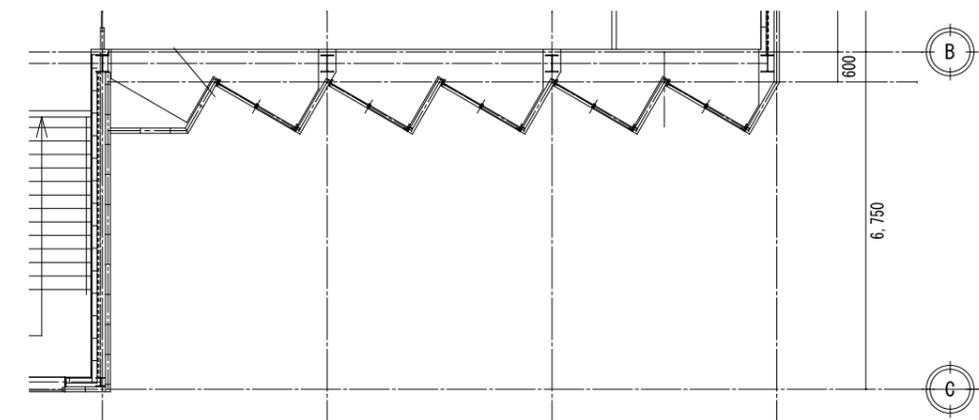
改修 東側立面図 S=1/100



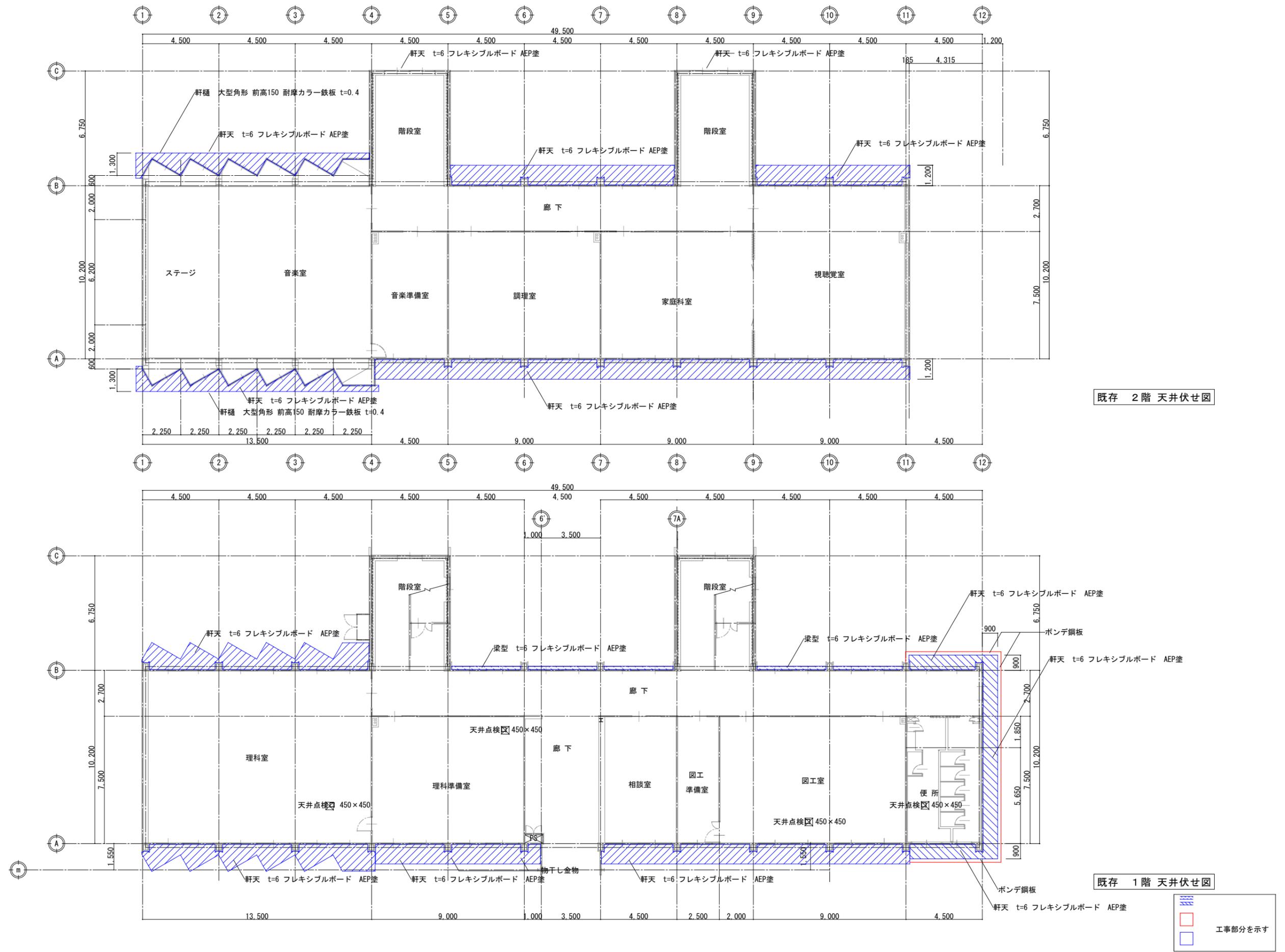
改修 東階段東側立面図 S=1/100

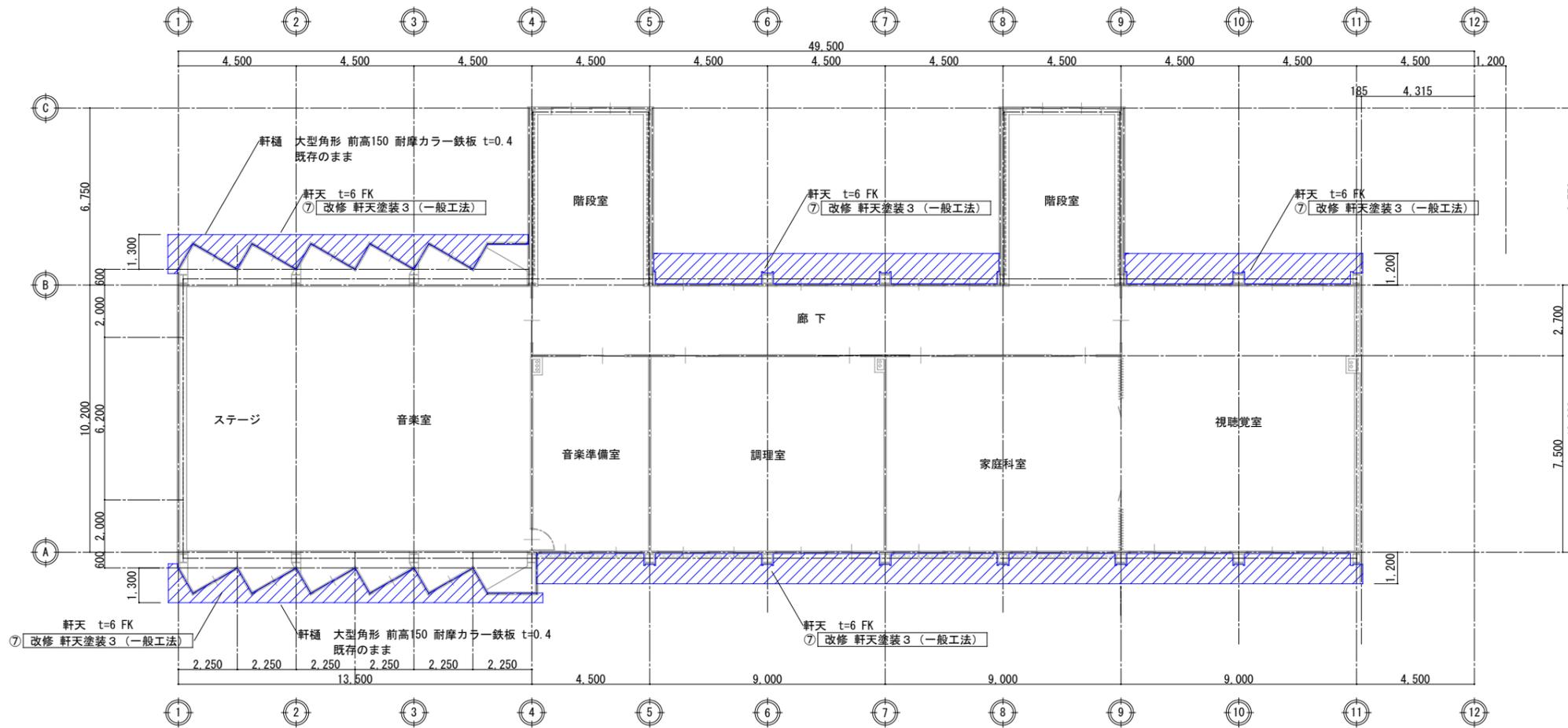
共 通	
サッシ廻りシーリング	増打ち MS-2 15×10
サッシ (四方)	増打ち MS-2 15×10
サッシ (水切上)	増打ち MS-2 15×10
掃出サッシ (水切下)	撤去、打替え MS-2 15×10
板間目地	増打ち MS-2 15×10
横目地	増打ち MS-2 15×10
ベランダ笠木	撤去、打替え MS-2 15×10
梁水切り継手	撤去、打替え MS-2 15×10
その他	増打ち MS-2 15×10

記号	仕 様
A	既存 アクリル系リシン 改修 ① 改修 外壁塗装 (一般工法)
B	既存 複層塗材E 改修 ① 改修 外壁塗装 (一般工法) 改修 ② 改修 補修 (剝離剤工法) 改修 ③ 改修 補修 (ポリマーセメント充填工法)
C	既存 コンクリート打放 改修 ④ 改修 外壁塗装 (撥水工法)
D	既存 RC造、モルタル塗り、複層塗材 改修 外壁方バー工法
E	既存 ALC版 アクリル系リシン 改修 ⑤ 改修 ALC外壁、軒天塗装 (一般工法)
F	既存 スチール製手摺、OP塗 改修 ⑨ 改修 鉄部塗装 1 (SC塗)

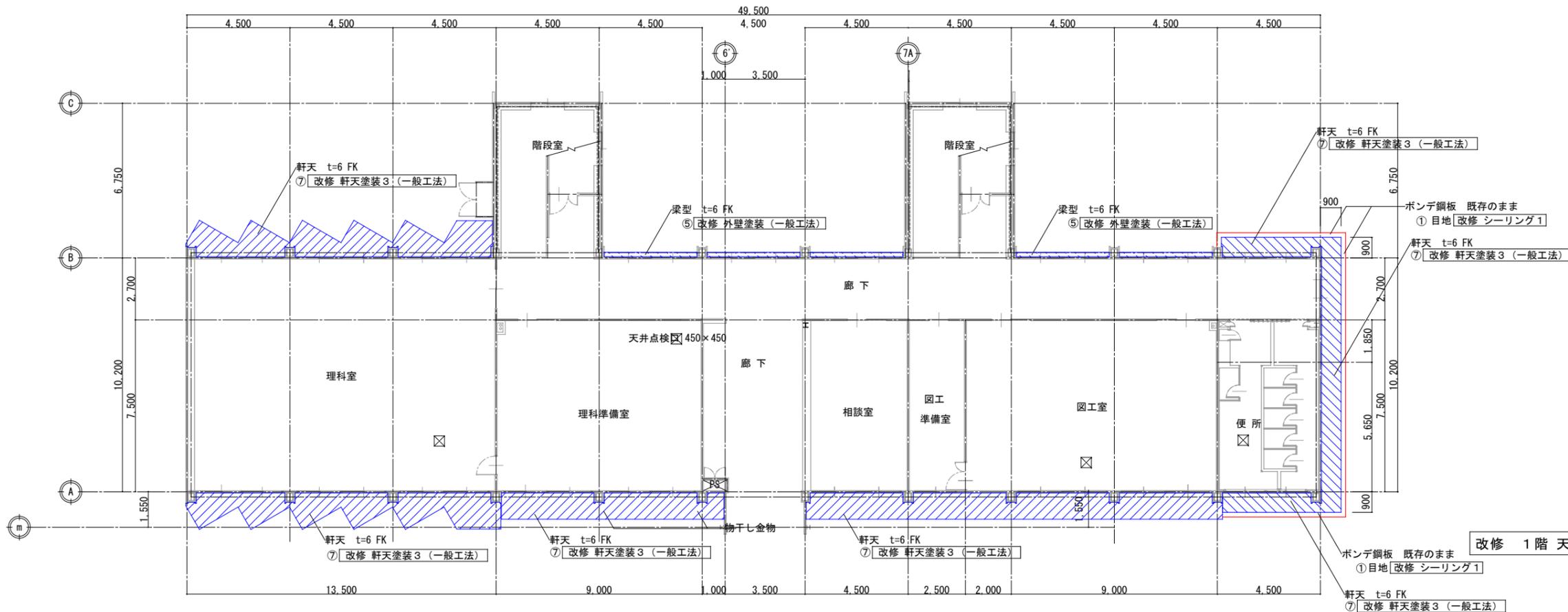


改修 北側立面図 S=1/100





改修 2階 天井伏せ図 S=1/150



改修 1階 天井伏せ図 S=1/150

